

幻想秘封倶楽部

Uさんの部屋

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

Uはスキマの时空の裂け目を調べてた時に偶然21XX年の京都に落ちてしまった……そこで出会った2人の少女達。しかし21XX年と現代(20XX年)の幻想郷は融合を始めていた。そして融合と共に現れたのはUが見た事のある能力者の偽者。そして記憶と能力を失ったその本人。この謎を探る為、Uを加えた秘封倶楽部が事件の謎を探る！(Uさんの部屋storyの派生作品ですので先にそちらを読んでからこの作品を読む事をオススメします。)

目次

プロローグ

第1話	数十年の未来	1
第2話	新生秘封倶楽部結成	3
第1部	幻想郷記録く上の章く	
第3話	幻想の融合	6
第4話	受け継がれる力	8
第5話	もう1人の魔法使い	10
第6話	魔法使いの力	12
第7話	変わる紅魔館	14
第8話	隠された仮面	16
第9話	遠き日の記憶	18
第10話	静止した時の戦い	20
第11話	抜けた巫女・残る神	22
第12話	凶悪な巫女	24
第13話	神様の力	26
第14話	奇跡と進化の力	28
第15話	運命までのカウントダウン	30
第16話	融合した力	32
第17話	八雲紫の力	34
第18話	悲劇の始まり	37
第2部	幻想郷記録く中の章く	
第19話	新章・変わらない歴史	39
第20話	深まる謎	41
第21話	奪われるオーブ	43

第22話	2人分の力	45
第23話	最後のオーブ	47
第24話	オーブ争奪戦	50
第25話	起動しないオーブ	52
第26話	腹黒き笑みの意味	54
第27話	裏の鬼の力	56
第28話	最後の継承	58
第29話	勝利の糧	60
第30話	鶴川聖也の過去	62
第31話	地下室の秘密	64
第32話	最後のアイテム	66
第33話	戻る魂	68
第34話	二つの力	70
第3部 幻想郷記録く底の章く		
第35話	無意味な力	72
第36話	憎しみの闇	74
第37話	罪滅ぼし	76
第38話	再び現れる姉妹	78
第39話	八雲紫の罭	80
第40話	禁断のオーブ	82
第41話	マイナスをもたらすオーブ	84
第42話	覚悟の変身	86
第43話	制限時間	88
第44話	認められた証	90
第45話	最強の闇戦士	92

第46話	思い通りの力	94
第47話	Uの秘策	96
第48話	戦いの終結	98
第49話	未来の可能性	100
第50話	過去と未来の彼女	102

プロローグ

第1話 数十年の未来

21XX年。いつしか幻想郷は外の世界から存在が消えていたように伝説となった。しかし、ある本がきっかけで幻想郷の歴史は現実世界と交わろうとしていた……

スキマ空間内……

U) なんか最近、時空の裂け目が多いな……歴史が変わる恐れは目は潰しておけと言われたが……アイツの言う事は信用出来ないからなあああ!?

U) 気がつければ時空の裂け目に落っこちていた。

そしてそのまま地面に激突しUの意識はそこで真っ黒に落ちた

……

U) う……うーん……

U) は数時間経ち目を覚ました。

U) 僕は確かスキマから落っこちてそれで……

??) あっ! 起きた? 早速聞きたい事があるんだけど!

U) うーん……何だよー……っってお前誰だよ!?

そこには黒髪の帽子を被ったUと同じくらいの(見た目)歳の少女がいた。

??) えー? 私の事知らないなんて世間知らずもいい所よ。

??) 蓮子、人をからかうのはよくないわよ!

U) ん……? 八雲紫……?

蓮子) え!? 貴方も八雲紫知ってるの!?

U) まあ、対立関係だし……

??) もしかして……!

紫似の少女は何かの本を取り出し、Uと照らし合わせた。Uの絵が描れていた……

??) 貴方……U……ですよね?

U) え……まあ、うん。

蓮子) 夢じやなかったー!

蓮子はUに抱きついた。

U) うあつ……………そもそもお前等誰なんだ……………

蓮子) 私は蓮子、宇佐見蓮子よ。

メリー) 私はマエリベリー・ハーン。長いからメリーって呼んで。

U) 蓮子にメリーね……………てかここ何処なんだ?

蓮子) ここ?ここは京都、今の日本の首都よ。

U) 待てよ……………日本って確か東京が首都じゃなかったか?

メリー) 色々とおったのよ……………というか、それは知ってたのね。

U) まあね。てかなんだその本は?

メリー) あーこれ?たまたま見つけたの。それから幻想郷に関わる事を蓮子と共に探してるの。

U) 見せて。……………本当にアイツらの事が書いてある……………ん?稗

田……………阿求……………?小鈴ちゃんが言ってた奴だったかな……………?

蓮子) 知ってるの!?

U) 会った事はないけどね。

蓮子) でも本当に幻想郷の能力者達に会えるとは思わなかったー!

メリー) もう、はしやぎすぎよ蓮子。

蓮子) 良いじゃない!始めて他の能力者達に会えたんだから!

U) ん?他の能力者……………?

蓮子) あー、私達ね不思議な力があるの。私は星を見ただけで今の時刻と場所が分かるの。

メリー) 私は境界の裂け目を感じ取れるの。貴方のもそこから見つけたわ。

U) マジかよ……………

宇佐見蓮子とマエリベリー・ハーン。この2人の少女は果たして何者なのだろうか……………?

To Be Continued……………

第2話 新生秘封倶楽部結成

U) ダメだ、僕にはついていけねえよ……………お前達の探究心には……………

蓮子) あら、ダメじゃん。

U) お前にだけは言われたくないわ。

メリー) でも本当に幻想郷の能力者に会えるとは思わなかったわ。

U) まあ、20XX年の大きな戦い以来幻想郷は外の世界との関わりを殆ど絶ったからね

蓮子) 国連幻想郷支配計画ね。今の時代歴史の教科書は愚かそれを専門にした研究者もいないからねー

U) まあ、アイツらにとつては黒歴史だろうからな。そりゃあそうなるわな。

メリー) 詳しいのね。

U) まあ、総大将みたいな立場だったし。

蓮子) なら他の妖怪達とも協力したのよね!?

U) せやな。

蓮子) その事について教えてよー!

U) まあ、ええけど。

メリー) その話は後でにしてもらっていいかしら? 私達は幻想郷に関わる事を探しているって言ってたわよね?

U) せやな。

メリー) U君にはそれに協力して欲しいのよ。

蓮子) 私がUにそう言おうとしたのにー!

U) U君って……………一応お前らより年上だぞ?

メリー) いいじゃない、減るものじゃないんでしょ?

U) まあ、好きにしなよ。

蓮子) つまりUには秘封倶楽部に入ってもらおうわ!

U) ええ……………マジかよ。

蓮子) 何その怠そうな目は……………

U) 面倒くさいやん。

メリー) U君って本当にこの本の通りの性格ね……………普段は何事も適当な馬鹿って……………

U) 馬鹿とはなんだ!

メリー) そこは本当に反論するのね……………

U) 外の世界でも馬鹿って言われるとは思わなんだ……………

蓮子) で、どうするのよ?

U) なんか条件付けてくれるの?

蓮子) 宿泊する家付き。

U) ならいいか。やる事なんて最近減ってたし。

蓮子) じゃあ秘封倶楽部入ってくれるわね?

U) ああ、構わないよ。

蓮子) やったあー!初めての幻想郷の能力者が秘封倶楽部に入ってくれたあー!

メリー) もう、蓮子ってば子供のようにはしゃいじゃって……………

U) アイツもまだ子供だろ。

蓮子) アンタにだけは言われたくないわよ。

U) 僕はお前が言った形を返したただけだが?

蓮子) ウザイ奴ねー!

U) お前が言うな。

蓮子) 何をー!

メリー) もう、新生秘封倶楽部結成初期から喧嘩しないでよ……………

U) 喧嘩はしてないよ。ただのじゃれ合いだ。

蓮子) まあ、そうね。喧嘩はしてないわ。

メリー) 怪しい……………でも喧嘩するほど仲がいいとはよく言ったものね。

U) 何それ。

蓮子) 私も知らないわ。

メリー) ことわざ弱いあなた達……………?似た者同士ね。

U・蓮子) それはない。

メリー) 息ピツタリじゃないの……………

新生秘封倶楽部。3人は近い未来ある異変に巻き込まれる事を知

らなかつた……
T o B e C o n t i n u e d ……

第1部 幻想郷記録く上の章く

第3話 幻想の融合

ある日、これは幻想郷についての手がかりを追っていた時だった
……

U) 全く……見つかるとは？手がかりなんて……

蓮子) 大丈夫よ、今までで3件は見つかったから。

U) マジかよ……それは誰なんだ？

メリー) 星熊勇儀、東風谷早苗、後は月面戦争の歴史も少しね。

U) 何かしらの共通点は幻想郷以外は思いつかない程適当やな
……

蓮子) 仕方ないわよ……えっと……今いる場所は……あれ
……何？空が割れていく……！

U) なんだって……!?

そして空の割れ目から結界が降ってきて、京都の一部分と日本を分
断した。

U) あれは……！博麗大結界……!?!……って訳でもなさそう
だな。

そしてU達のいる結界内はその中にいる人以外は幻想郷そのもの
になってしまった……！

U) これは……ホログラムでは無いな……しかも……僕の時
代の幻想郷だ……！

蓮子) えーと……つまり？

U) 何者かによって僕の時代の幻想郷が未来のここに現れてしまっ
たのだからね……！

人1) あれは……バケモンだあー！逃げろー！

そこには怪物がいた……しかしUには見覚えのある姿だった
……

U) 霊夢……なのか？あの見た目は……

蓮子) 霊夢……？霊夢ってあの博麗霊夢!?

U) ああ、しかし何故だ？

その霊夢もどき……アナザー霊夢と呼ぶべき怪物は空を飛びU達に攻撃を仕掛けた。

Uは攻撃を跳ね返した。

U) とりあえずお前達は逃げろ。死にたくなければな。

Uはセイバーを取り出した。

U) もうここまで来りや銃刀法違反なんて関係ないわな……！

Uはアナザー霊夢に攻撃をする。攻撃は当たったものの、倒す為のダメージを与えた感はあるでなかった。

U) 何……!?

アナザー霊夢は反撃した。Uは咄嗟にセイバーで防御する……

U) どうなつてやがる……?ともかくダメージが通らないなら引くのが得策だよな……！

U達は蓮子とメリーの2人の元に戻りスキマを開く。

U) 早く入れ！

2人は慌て気味ながら、スキマに入りUもスキマに入りスキマの入口を閉じた。

蓮子) 全く……酷い目に会ったわね……！

メリー) この本で見ても博麗霊夢とはとても思えない……

蓮子) それより……ここつてもしかして！

U達が出てきたのは博麗神社だった……

U) 無我夢中でやってたがここに出てくるとは……

そこに1人の巫女が面倒くさそうにU達の前に立ち、

霊夢) アンタ達何者？

と、まるでUを知らない発言をした……蓮子とメリーら愚かUすらも驚きを隠せなかった……

To Be Continued……

第4話 受け継がれる力

U) え……………霊夢……………だよな？

霊夢) そうよ、何故貴方が知ってるのよ？

U) 嘘だろ……………まさか！

蓮子) どうしたの？

U) 霊夢、お前の能力はなんだ？

霊夢) 私は普通の人間よ？能力者なんているわけないじゃない。

U) やっぱりか……………あの霊夢もどきが僕の知ってる霊夢のポジションに書き換えられているのか……………オマケに奴は倒せない。絶望的だよ……………

メリー) U君！あれを見て！

そこにはアナザー霊夢がいた。

U) 追いつかれたか……………なら……………行くぜ！

Uはセイバーを取り出し攻撃した。やはり攻撃は効かない……………そこへ紅魔ブレードで攻撃した。

アナザー霊夢はその攻撃に苦しみ倒れ込んだ。それと同時に霊夢は記憶を取り戻した。

霊夢) !?……………U!?

U) 記憶が戻った……………つて事は存在自体が繋がった状態みたいなものか……………霊夢もどきの方が優先されるっぽい……………

霊夢) そうだ！私は貴方に調べて欲しい物があったのよ。

それは謎のベルト2つと赤いオーブだった……………それをUが受け取ると同時にアナザー霊夢は紅魔ブレードを抜こうとしていた。その時霊夢は頭を抱えだした。

霊夢) 記憶が……………持たない……………！

U) まずい、戻っちまう……………！

霊夢) 後は……………任せるわ。

言い終わると同時に霊夢の記憶は消えてしまった……………

U) ……蓮子、お前が使い。

蓮子) なんで？

U) 勘だ。

蓮子) シリアス状況で何言ってるのよ。

U) とりあえずそのベルトをつけろ!

蓮子はベルトを装着した、その後、赤いオーブをベルトに挿し込んだ。その時に蓮子の姿は霊夢になった。

蓮子) なんかわからないけど……行けそう!

蓮子はお祓い帽で攻撃する。

その攻撃は有効だった。

蓮子) 効いてる……!

U) 蓮子! お前なら倒せる!

蓮子) 確か本に書いてたけど……やってみようかな!

霊符「夢想封印」!

すると本当に夢想封印が発動しアナザー霊夢を倒した。

蓮子) よくわからないままだけやったあ!

霊夢) で? あんた達結局何者? 用がないなら帰ってくれろ?

U) 霊夢と言う幻想郷最強の巫女の歴史が……消えた……

蓮子) このベルト……何なの……?

U・蓮子) 全くわからない……!

考えてる事は違ってたが、全く同じ結論に至った……しかもこれで幻想郷が元に戻る訳では無かった為、そこも謎に陥ってしまった……果たして、この謎……いや、異変と言うべきか……この異変は何なのだろうか……それはわからないまま異変は進んで行ったのだ……

To Be Continued……

第5話 もう1人の魔法使い

魔法の森……………

蓮子) ここが魔法の森かー!

メリー) 小さな妖精や妖怪達が集う神秘の森……………

U) それの作者にはそう見えたのかな。しかし……………
そこには人は愚か妖精すらいなかった。

U) いつもなら騒がしい森なんだか……………

メリー) U君! あれを見て!

そこには魔理沙に似た怪物の姿が……………

U) アナザー……………魔理沙とでも言うべきか。

蓮子) とりあえず止めないと!

Uはセイバー、蓮子はベルトを装着し、霊夢のオーブをセットし、霊夢の姿になった。

U) あの時、何故アナザー霊夢を倒せたのかはまだちゃんとわかってはいない。くれぐれも慎重にな。

蓮子) 了解!

2人は連携して攻撃をする。やはり、倒す為のダメージを与えた様子は無かった。

蓮子) 駄目か……………

U) どうすればいい……………!?

2人が悩んでいたその時……………

U) !?……………あれは……………魔理沙!?

メリー) あれが……………霧雨魔理沙……………!

しかし、魔理沙は箒を抱え逃亡した。

U) まさか……………アイツも同じか……………!

そう、魔理沙も霊夢と同じく能力と記憶は失われていた。

U) メリー! 魔理沙を追いかけてくれ!

メリー) 分かったわ!

メリーは魔理沙を追いかけた。

アナザー魔理沙は追いかけてようとしたが……………

U) おっと…………お前の相手は僕達だ！
蓮子) でも倒せないのにどうするのよ!?

U) 時間稼ぎだよ。アイツならなんかやってくれる! 僕らはそれを信じるだけだ!

蓮子) 本当にわからない…………でも、燃えるわ!

そして、メリー視点…………

メリー) (……………)追いついた! ねえ!

魔理沙) 来るな! 私の方に近寄らないでくれ…………!

彼女は怯えていた。能力と記憶がないだけで性格まで変わってしまっただけか?

メリー) 私は敵じゃないわ! 貴方の友達のU君の仲間なの!

魔理沙) ……仲間…………あぐつ!?

魔理沙は頭を抱え苦しんだ…………!

魔理沙) 私は…………何を…………!?

魔理沙は記憶を取り戻した…………

メリー) 大丈夫!?

魔理沙) ん…………紫…………?ではなさそうだな…………

メリー) 私はUの友達仲間よ。

魔理沙) そうなのか…………私の中にはもう能力はない…………だが、アイツに会えたなら…………これを渡してくれ…………!

それはオーブだった。色は違えど霊夢のものと殆ど同じものであった…………

メリー) わかった…………絶対渡す。

魔理沙) 頼む…………私はまた記憶を失ってしまうだろうからな…………!

メリーはオーブを持ち、U達の元へ向けて全力で走った。このオーブもまた、魔理沙の力込められし物であった…………

To Be Continued…………

第6話 魔法使いの力

蓮子) まだ帰ってこないけど!?

U) いや……………今だ。

メリー) お待たせ! ハアツハアツ……………

蓮子) メリー!?! それって……………!

メリーは2つ目のベルトを取り出し、装着した。そして魔理沙のオーブをセットした。

するとその姿は魔理沙になった……………

メリー) 弾幕はパワーよ!

蓮子) 何その台詞……………?

メリー) 霧雨魔理沙の性格をあの本で勉強してもう覚えちゃったからよ。

蓮子) メリー……………そんな趣味あったんだ……………

メリー) さあ、行くわよ!

メリーは八卦炉を取り出し、レーザーで攻撃をする。

それは、アナザー魔理沙に有効なダメージを与えた。

U) やっぱりそうか……………

蓮子) どうしたの?

U) その相手にはその相手の力。つまり目には目を歯には歯を、そして能力には同じ能力をだな!

蓮子) いや……………意味わかんない……………

メリーは箒を使い空を飛びながら弾幕攻撃をした。そしてとうとうアナザー魔理沙に膝をつかせた……………

メリー) これで終わりよ! このスペルカードを使ってね!

メリーの持つ八卦炉から高エネルギーが感知できた。

メリー) 恋符「マスタースパーク」!

そのフルパワーの一撃はアナザー魔理沙を飲み込むように直撃し、アナザー魔理沙を倒した……………

メリー) これで一件落着ね。

メリーは変身を解除し、蓮子も立て続けに解除した。

蓮子) やったね! メリー!

メリー) U君と蓮子が抑えてくれたおかげよ。

蓮子) でもこれ…………どこかで見た事あるんだよね…………あ!

蓮子は自分のポケットから2つのオーブを取り出した。それは星熊勇儀と東風谷早苗のものだった…………

U) そうか…………お前達前にそれについて調べたっていつてたっけ…………それで手に入れたのか?

蓮子) ええ、面白そうだったから調べたけど、分かったのは何かしらだめられている事だけだったの…………

U) まさか今使える物になるとは驚きだな…………

メリー) そうね…………あ、魔法の森出口かしら?

U) そうだな…………次は紅魔館にでも行ってみるか?

蓮子) 行ってみたいわ! そしてこのベルトを使って倒す!

U) アイツら戦い始めて間も無いベルト使いに負ける程弱くねえよ…………

蓮子) ええ…………ならUなら勝てるの?

U) さあな。あれからずっと戦ってないからさ。

蓮子) あれ?

U) 始めてアイツらと会った時以来は戦ってない。果たして今の僕はアイツらのどこら辺の強さなのか…………?

次の物語は紅魔館…………そこでも同じアナザー能力者が現れかけている事をまだ秘封倶楽部の者達は知らなかった…………

To Be Continued…………

第7話 変わる紅魔館

紅魔館前……………

U) なんだこりゃ？

蓮子) インターホンね。

U) なんでこんなもんがあるんだ……………？

蓮子) まあ、押してみましよう。

そう言つて蓮子はインターホンを押した。

??) はい。用件をどうぞ。

U) レミリアに会いたい。

??) お名前をどうぞ。

U) Uだ、そして他に宇佐見蓮子、マエリベリー・ハーンという少女が2人いる。

??) アポはないようですね。いつお会い出来るか今確認して来ます……………

3分後……………

??) お嬢様は今お会いになるようです。

U) マジかよ……………

??) 今お迎えに上がります。

更に3分後……………

咲夜) お待たせしました。

U) 良いのか？

咲夜) 暇潰し……………のようです。

U) 分かったよ……………

こうして、3人は食堂に通された。

レミリア) 待っていたわ。

U) ああ、レミリア・スカーレットだな？

レミリア) 知っているのね。やはり遠くの所でも名の知れた存在のようね。

U) ダメだこいつ……………自意識過剰さが上がつてやがるよ……………所で僕達の話をして悪いが、こんなの持ってないか？

Uはオーブを見せた。

レミリア) 持つてるわよ? ほら。

それはまた他の2人と違う色だった……………

レミリア) 欲しいなら上げるわよ。

U) あっさりだな。

レミリア) 私には無用の長物だからね。

U) 成程な……………

咲夜) お嬢様! 外に怪物が!

レミリア) 私が迎え撃ちたいけど、外は出たくないわ。

蓮子) 自分勝手ね……………

U) ……………メリー、ベルト貸せ。

メリー) え? うん……………

Uはメリーからベルトを受け取った後、外に出た。

そこにはアナザーレミリアがいた……………

U) やはり……………レミリアの偽者か……………だが、レミリアの力があ
る以上は大した問題じゃないな。

Uはベルトを装着した。

U) さあ、吸血鬼狩りを始めよう。

Uはベルトにオーブをセットした。そうするとUはレミリアの姿
になった……………

U) さあ、お前の運命を……………捧げろ。

Uは手を銃の形にして人差し指をアナザーレミリアに向けそう告
げた。彼はセイバーとグングニルの二刀流になった……………

この時、U達は知らなかった……………このアナザー戦士に遭遇する前
に彼等はレミリアのオーブを手に入れ、レミリアの力を手に入れた
……………どう考えても出来すぎた話である。そう、このアナザー能力者
には、今までの2体とは別の意味で面倒臭い怪物だった……………

それが明かされるのは次回となる。ヒントを言うならばアナザー
戦士は持てる能力は1つとは限らないと言うことである……………おっ
と、言い過ぎたみたいだ……………

To Be Continued……………

第8話 隠された仮面

U) なんだ……………? ダメージを与えているのは確かだ。しかし、完全に倒してる感じはしない……………だが、こいつがレミアアの偽者なら……………僕は倒す!

Uはセイバーを地面に突き刺し、グングニルを右手に持ち、左手を広げた、

U) お前の運命は僕の手中だ! 神槍「スピア・ザ・グングニル」! フルパワーのグングニルはアナザーレミアアを貫通した。その時だった……………

U) ぐあっ!?

Uの左足に激痛が走った。

U) な……………ナイフ……………だと……………?

そう、銀製ナイフだった……………

U) まさか……………!

アナザーレミアアは溶けていった。溶けたと言っても、それはまるで外側の皮が溶けた……………所謂脱皮と似た物だった。それは恐らくアナザーレミアアが倒された時に起こる現象であると考えられる事が出来る。

U) アナザー……………咲夜……………!

確かに記憶と能力を失っていた人物はレミアアだけではなかった。その他は知らぬがもう一人……………咲夜も記憶と能力を失っていた。それはUも知っていたが、まさかそのアナザー能力者がアナザーレミアアのマスクの中に隠されていたとは思ってもよらなかった。アナザー咲夜は時を止めた。Uは時が止まろうと動ける為問題なかったが、確かに咲夜と同じ力なのは理解していた……………

U) やはり……………オリジナルの……………咲夜の力がある……………!

Uは今の状況では勝てないと悟ったのか、撤退するタイミングを見ていた時……………アナザー咲夜はUの元から離れ、消えていった……………

U) ど……………どういう事だ……………

再び時は動き出し、Uはオーブを引き抜き、変身を解除した。

U)まさか、こんな話があるとはな……明らかに何者かの仕業だな……そうとしか考えられないだろ……

そこに蓮子とメリーが駆けつけた……

蓮子) U! 大丈夫!?

U) ああ、だが僕以上に心配しなければならない事がある……

メリー) 何それ?

U) アナザー咲夜……

蓮子) え!? 何処!?

U) アナザーレミアアの下に隠れていたもう1つのアナザー能力者。つまり、アナザーレミアアはアナザー咲夜でもあった……って事さ。

メリー) つまり……1人で2人の力を持っていたって事!?

U) アナザーレミアアとしての奴は倒したが……だが、それを1人が背負っているのなら……まだ半分しか倒してない……だが倒す為には……!

Uは咲夜の元へと走った。果たして……Uは何故咲夜の元へと走ったのか? この戦いはまだ……終わっていない事をUは悟っていた……

To Be Continued……

第9話 遠き日の記憶

U) とこだ!?どこにいる咲夜!

咲夜) どうしました?お客様。

U) ちよつとアンタと話がしたい!

咲夜) なんてでしょうか?

U) こんな持ってねえか!?

U) はオーブを見せた。

咲夜) いえ……存じませんね……

U) そうか……

咲夜) ところで貴方、私にかなり馴れ馴れしいようですが、何か関係がありましたか?

U) やはり覚えてないよね……僕達の話か。最初に会った時にアンタに襲われた。

咲夜) はい!?

U) そして、僕はアンタと最高の親友だった。もう1人いたけど。

咲夜) そのもう1人とは?

U) 魂魄妖夢。冥界の刀使いだ。まあ、忘れちゃってるよね。レミアの本来の事も……

咲夜) お嬢様が?

U) レミアは運命を操る力を持っていて、咲夜は時を止め、ナイフで戦う家事をなんでもこなす完全で瀟洒な従者だった。いや、今も大して変わらないか。

咲夜) ええ、家事全般は私のコントロールの元動いています。

U) やっぱりか……でもね、僕の知ってる咲夜はもういないんだな……

咲夜) 貴方の知る私……?

U) 僕の知る咲夜は確かに完璧だったけどさ、逆に完璧にこだわらず過ぎて戦いも何もかも無理ばっかしてた。だけど、そんな咲夜も僕は好きだった。信頼してた。

咲夜) 信頼……好き……?

その時、咲夜は頭を抱えていた。その時、咲夜の記憶は戻った。

咲夜) !……………U!?

U) 思い出した……………ようだな。

咲夜) 何故ここに……………?

U) 改めて聞くけど、こんなの知らない?

Uは再びオーブを見せた……………

咲夜) ああ、そう言えば……………着いてきて……………

Uは咲夜に付いて行き、彼女の部屋に着いた。

U) そう言えは咲夜の部屋って入ったことなかったな。

咲夜) そう?

U) 入ったら殺すって言ってたじゃねえかよ……………

咲夜) まあ、今は特別よ。

U) そうかい。

咲夜は金庫を開けた。その中には咲夜の力を持つオーブが入っていた。

U) そのオーブは……………

咲夜) 私はこれの事すら忘れていたという事は、恐らくお嬢様より先に手に入れてから記憶を失ったと考えられるわね。

咲夜はオーブをUに渡した。

咲夜) 何に使うかは分からないけど……………これが必要なら、持つ意味が無い私よりこれを必要とするUが持っていた方が良いわね。

U) 咲夜……………ありがとう!

咲夜) また私の記憶は消える可能性があるわ。後は任せるわ……………!

U) じゃあな……………親友。

咲夜) ええ、また会える時に……………!

Uは蓮子達の元へ全力で走った。アナザー咲夜を見つけ倒す為に……………!

To Be Continued……………

第10話 静止した時の戦い

その時、紅魔館の外ではアナザー咲夜が再び現れた。

蓮子は霊夢の力を使い戦うが、やはり咲夜の力が無い為、上手くダメージを与えてはいなかった。

蓮子) やっぱり……………ダメ……………?!

アナザー咲夜は蓮子に幻符「殺人ドール」に似た力を放ち、蓮子に直撃する。

蓮子) きゃあああ!

蓮子の変身は解除されてしまった。

メリー) 蓮子!

アナザー咲夜は蓮子に止めを刺そうとした。

しかし、そこにセイバーが飛んで来て、アナザー咲夜のナイフを弾いた。

メリー) あのセイバーは!

U) 待たせたな。

蓮子) 全く……………遅いわね……………!

Uは再びベルトを装着した。

U) さて、今度はメイド狩りを始めようか。

メリー) メイド狩りとか聞いた事ない……………

U) ……………ともかく、アナザー咲夜は倒す。

Uはオーブをベルトにセットした。

するとUは咲夜の姿になった。

U) さあ、お前を掃除してやる。

Uはナイフを装備した。そのナイフをアナザー咲夜に指し、咲夜の間離れした身のこなしでそのナイフを押し込んだ。それはアナザー咲夜にダメージを与えた。

メリー) 凄……………!

アナザー咲夜は時を止めた。しかし、Uはその時止めに対抗してアナザー咲夜の時を止める。

U) 僕に時止めは効かないよ……………!

Uは時の止まったアナザー咲夜に対して……………

U) 幻符「殺人ドール」!

殺人ドールを放ち、アナザー咲夜に大ダメージを与えた。再び動き始めたアナザー咲夜は再び殺人ドールに近い攻撃を放った。

U) お前は僕には勝てない!

Uはもう一度スペルカードの擬似技を放った……………!

U) 幻葬「夜霧の幻影殺人鬼」!

Uの方が勝ち、アナザー咲夜は爆散した。そして時は再び動き始めた……………

蓮子) 倒したのね……………! あぐっ!

U) 蓮子!

Uは変身を解除し、蓮子を抱える。

U) 大丈夫か?

蓮子) アンタが遅いからよ……………責任取りなさいよね……………!

U) わかってるよ。ごめん。

蓮子) もつと誠心誠意。

U) 誠心誠意とはなんだ?

蓮子) アンタそんなのも知らないの! 私をスイーツやらしい店に連れて行って私に奢るのよ!

U) よくわからんけど、なんか美味しい所には連れて行ってやるよ。

蓮子) それが誠心誠意よ。

メリー) それは貴女だけでしょ?

蓮子) メリー! 言わないでよ!

U) まあ、本当に僕が間に合わなかったのが悪いんだよ。スイーツ店やらなんやら連れて行ってやるよ……………

蓮子) わーい!

メリー) 蓮子が調子に乗るわよ?

U) 構わねえよ。

こうして、アナザーレミア・咲夜との戦いを終えた秘封倶楽部。しかし、まだまだアナザー能力者達は生まれようとしていた……………

To Be Continued……………

第11話 抜けた巫女・残る神

妖怪の山内の守矢神社……………

U) 久しぶりに来たな守矢神社。

早苗) あ、わざわざいらつしやつてくださりありがとうございます！
私ここで巫女をしています東風谷早苗です！

U) やっぱり記憶は無いよね……………解ってたけどさー。

???) U、久しぶりだな。

U) え……………八坂神奈子に洩矢諏訪子!?

早苗) え?何か見えるんですか?それより……………御二方をご存知な
んですか?

U) ま……………まあね。

蓮子) アンタ何見えてるの?

U) お前等も見えねえのかよ……………2人とも、ちよつと早苗の相手
しててくれ……………

メリー) あ、そういう事ね。

メリー) はUが加奈子と諏訪子が見えている事に勘づいた。

メリー) あのー、この守矢神社の歴史についてお聞きしたいのです
が……………

守矢神社の外れ……………

U) お前等……………僕の事がわかるのか?

諏訪子) まあね。でも早苗がおかしいんだよ。能力や記憶を失った
上に私達の事が見えていないらしいのよ。

加奈子) 何か知らないか?

U) 3件程知ってる。そこから整理すれば早苗が能力と記憶を失っ
ている理由はだいたいわかってる。

諏訪子) どうなの!?

U) 早苗の力を持ったアナザー能力者がいる。アナザー早苗って奴
だな。そいつがこの時代の早苗……………って事になっているらしいな。
何者かによつて……………

加奈子) それは困ったな……………

U) お前に3件とも全員元に戻せていないしな……………

紫) 失礼するわ。

加奈子) 八雲紫……………か。

U) 何の用だ。

紫) プレゼントをしに来たのよ。

紫はUに秘封倶楽部が持つベルトと異なる物だった。そしてもう一つ、何の力も込められてない少し形状の違ういわばブランク体のオーブをUに渡した。

U) これは……………

紫) そのベルトはマエリベリー・ハーンとか言ったかしら？その娘に渡してもらえる？

U) どういう事だ。

紫) それを使う為には私の境界の力を感じ取れる彼女の方が最も適なのよ。その中には私の力の一部も込められている。ここまで言えば……………解るわよね？

U) ああ、後で渡しといてやるよ……………それと一つ聞くが、お前……………アナザー能力者について何か知ってるか？

紫) 知らないわ。でもまだまだいるのは確かよ。

U) ……………そうか。

八雲紫はスキマで消えた。その時の紫は真っ黒な笑みを浮かべていた……………

紫) 私はその事については知らない……………けど、私はこの異変に乗っかっているのは確かね……………フフフツ。

紫のこの言葉の意味とは？それが解るのはまだ先の話である事だけは確かなのであった……………

To Be Continued……………

第12話 凶悪な巫女

U) と言う訳なんだ。

Uは蓮子とメリーに自分が2人の神に話した事を全て伝えた。

蓮子) へー、成程ね……で、そのベルトはこの2つと全く違う八雲紫の力が入ってるベルトって事ね……

U) メリーに渡せとアイツがうるさくてな。と言う事で持つてくれ。

メリー) 分かったわ。ならUがこのベルトを持つてたら？

U) 確かにそれがいいかもな。

蓮子) 確かにベルトひとつ足りない問題は解消されたわね。

U) 考えてみればそうだな。

メリー) だけど……蓮子って東風谷早苗のオーブを持つてるでしょう？

蓮子) そうだね。ほら。

そう、このオーブは過去に京都で東風谷早苗の事を調べていた時に手に入れてたオーブである。

蓮子) 例えアナザー早苗が出て来ても問題無しよ！

U) そうだといいいんだが……
するとそこへ……

早苗) なっ……なんですかあの怪物はあああ！

早苗の悲鳴が聞こえた。

U) メリー、早苗を頼む。

メリー) え？私も……！

U) そのベルトはまだどんなのかわかってない。もう少し調べてから使うべきだと思うんだ。

メリー) わ……分かった。

メリーは早苗を避難させる為に彼女の傍に付いた。

U) 蓮子、遠慮はするなよ？

蓮子) 解ってる！

Uはレミリア、蓮子は早苗のオーブをはめた。

そうして、Uはレミリア。蓮子は早苗の姿になった。

U) さあ、お前の運命を捧げろ……………!

蓮子) 行くわよ!

2人は攻撃をしかけた。

早苗) あれは……………私?

早苗は困惑していた。無理もない。自分が目の前に現れれば誰でもそうなる。

Uはグングニルでアナザー早苗の攻撃を抑え、蓮子は早苗の力でダメージを与えて行く。

蓮子) この戦いは余裕ね!

U) 油断するなよ? アナザーレミリア・咲夜の時みたいになる可能性がある。

蓮子) 解ってるわ!

そして、蓮子は擬似スペルカードを放つ……………

蓮子) 秘術「グレイソーマタージ」!

するとアナザー早苗もグレイソーマタージに似た攻撃をし、力の間で燻る。

蓮子) 何……………こいつ……………! 私より力が……………! きゃああ!

中間で燻った力はアナザー早苗が押し込み、蓮子はまともに受けてしまい、早苗の力が解除された。それと同時に早苗のオーブが、アナザー早苗の足元に転がった。

蓮子) ダメ! それは……………!

言い終わる前にアナザー早苗は早苗のオーブを踏みつけ破壊した。

蓮子) あっ……………ああ……………!

アナザー早苗はそのままどこかへと消えていった。

オーブが破壊されアナザー早苗を倒す事が出来なくなってしまう
秘封倶楽部……………果たして……………?

To Be Continued……………

第13話 神様の力

秘封倶楽部達は失意のどん底へと叩き落とされていた……………

U) 参ったな……………まさかオーブが破壊されるとは……………

蓮子) これじゃアナザー早苗を倒せない……………

加奈子) お困りかU?

U) まあね。

加奈子) あの早苗もどきが倒せなくなっただんでしょ?

U) そうだな。

蓮子) 誰と話してるのよ?

U) だからここの神社の神だ。

蓮子) やっぱUには見えるのね……………

U) そんな事は無いと思うぞ? ほら。

Uは砕かれた早苗のオーブの破片を蓮子に渡した。

蓮子) こんな物が一体何に……………

U) あそのこの方向でその破片を見てみ?

Uの指さす方向にオーブを持っていき、覗き込む……………すると

……………

蓮子) 本当だ! 八坂神奈子に洩矢諏訪子!

メリー) 私にも見せて……………本当ね……………!

諏訪子) なんでその方法で見えるとわかったの?

U) 簡単な話だよ。こいつには早苗の力が込められてたんだ。元々のアイツに見えたんならこれで見えるんじゃないかと考えた。

メリー) 偶然なのか解らないけど凄いな……………それと、東風谷早苗はオーブの事を全く知らないみたいなの……………

U) だろうな。咲夜の時みたいに面倒くさくなりそうだし……………

加奈子) なら早苗本人に思い出してもらおうしかないか。

U) そんな事出来るのか?

諏訪子) 勿論。私達の力を少し送ればね……………!

2人は早苗に自らの力の一部を送った……………

早苗) うっ……………! 加奈子様に諏訪子様……………!?

早苗はまるであつさりとしたかのように記憶を取り戻した。

U) 早苗……………

早苗) Uさん！私は何を……………？

U) 記憶喪失と能力喪失だ。

早苗) 能力が!?

U) 君は能力を使えなくなっている。

早苗) そんな……………信者が減っちゃいますー！

U) そこかよ……………

蓮子) ねえ、こんなの知らない？

蓮子は早苗にオーブを見せた。

早苗) あ！もしかして……………

早苗は急いで神社の中に入った後、1分程で戻って来た……………

早苗) これですよね？

早苗は破壊されたのと同じオーブを持って来た。

蓮子) やっぱり……………

早苗) どうやら皆さんはこれが必要のようですね？

蓮子) うん、幻想郷のアナザー能力者達を倒すのに必要なの……………

！

早苗) ……………良いでしょう。どうぞ。

こうして、再び早苗の力を手に入れた。すると……………

U) そう言えばこいつに力を込めれるんだったな……………

Uはブランクオーブに力の半分を込めてみた……………すると……………

U) これは……………！

ブランクオーブはUのオーブとなった……………

U) 蓮子、こいつもやる。

蓮子) え……………？Uの力……………!?

果たして、Uの力を持つオーブとは……………？

To Be Continued……………

第14話 奇跡と進化の力

するとそこにアナザー早苗が現れた……………

蓮子) 今度は容赦しないわよ!

蓮子はUのオーブをセットし、変身した。

すると蓮子に鎧の形で装着された。

蓮子) ええ!? 変身するんじゃないの!? まあ行くわ!

蓮子はセイバーで攻撃する。それはアナザー早苗に何となく効いていた……………

蓮子) ……………どういう事?

U) 効いたのか……………

蓮子) え?

U) 常識を破壊した力さ。効くか解らず使ってなかった。

蓮子) ええ……………

それと同時に蓮子はUのオーブの変わった形質に気付く。

蓮子) これつてもう1つオーブを使えるって事?

U) だな。

蓮子) だったらこれ!

蓮子は霊夢のオーブをUのオーブにセット。すると鎧は霊夢の姿を象徴する色と形に変化した。

蓮子) これなら行けそう……………!

蓮子はセイバーとお祓い棒の二刀流で攻撃する。Uの常識を破壊した力で着実にダメージを与える。そして、霊夢のオーブを外し、早苗のオーブをセットした。するとお祓い棒は早苗の物に変わった。

U) 八雲紫、お前こうなるように狙ったろ?

紫) ええ、貴方達のこれから先の運命を乗り切るのに必要なのよ、貴方の力が……………

U) ……………そうか。

蓮子はアナザー早苗を一方的に追い込む……………

蓮子) これで……………とどめよ!

蓮子は擬似スペルカードを放った……………

真秘術「グレイソーマタージⅡ」！（オリジナルスペカ）

蓮子はオリジナルのスペルカードをUの力を通して発動した為、強化されたスペルカードを放つ事が出来た。普通のグレイソーマタージを止め跳ね返した流石のアナザー早苗も、Uの力で強化されたグレイソーマタージⅡを止める事は出来なかつた。更に早苗の力でもある為アナザー早苗に効果的なダメージを与える事が出来る。その攻撃を受けたアナザー早苗は大爆散した……………

蓮子）やったあ！

メリー）Uの力のお陰ね。

紫）Uの力は常識を破壊した力を持っている。それにUの力は他の力を伸ばす事も出来る。貴方の力は今後彼女達の力になる……………

U）そんな事を言っているが、違うだろ？今アナザー早苗を倒さなきゃ都合が悪い……………だろ？

紫）お見通しなのね。

U）長年お前と対立してればお前の思惑は何となく分かる。

紫）そう……………ならこの先の運命……………乗り越えてみなさい……………

U）……………当然だ。お前の野望もあのアナザー能力者達も全て打ち砕く……………

蓮子）Uー！貴方の力のお陰よー！

U）あ……………ああ、そうなのか……………

Uはアナザー早苗を倒した事よりも、八雲紫の野望を考えていた。果たして、八雲紫の目的とは……………？

To Be Continued……………

第15話 運命までのカウントダウン

人里

蓮子) ここが人里かー……………あれ? Uは?

メリー) さつき、「僕は例のベルトを調べたいから人里に居といてくれ」って。

蓮子) 要するに調べる為に私達から離れているのね。

メリー) だけど……………人っ子一人いないわね……………

蓮子) 本当だ。全部閉め切ってるって感じね。

するとそこへ……………

?) 見つけたぞ。

2人の前に現れたのは人の姿をした狐だった。そう、八雲藍である。

蓮子) あれ何!?! アナザー能力者って訳では無さそうだけど……………

メリー) あれは八雲藍、八雲紫の式神らしいわ……………

藍) お前達を始末する……………

蓮子) そう言う訳にも行かないのよ! メリー!

メリー) うん!

2人はベルトを装着した。蓮子はUのオーブ、メリーは魔理沙のオーブをセットし、蓮子はUの鎧を装着し、メリーは魔理沙の姿になった。

藍) それがオーブの力を引き出すベルトか……………面白い!

藍は弾幕を放ち、2人を攻撃する。

2人はそれをかわし、メリーはレーザー攻撃をして、蓮子は霊夢のオーブをセット。Uの鎧が霊夢を象徴する色と形になる。

蓮子) 霊符「夢想封印II」!

蓮子はアナザー早苗の時のようにUの力でパワーアップしている擬似スペルカードを放った。藍は2人の攻撃を回避し、スペルカードを放った……………

藍) 式輝「狐狸妖怪レーザー」!

2人) きやあああ!

2人は吹き飛んだ。

藍)使わないのか?あのベルトを。

蓮子)え……………?

メリー)多分……………今Uが調べているベルトを使えと言っているのよ……………!

藍)さもなくば……………私には勝てぬ!

藍は再び……………

藍)式輝「狐狸妖怪レーザー」!

スペルカードで攻撃する。それは再び2人に直撃した。

2人)きやあああ!

2人の変身は強制的に解除された。

藍)この程度か……………

するとそこへ、セイバーを持って藍に切りかかるUが現れた。藍は冷静に攻撃を回避した。

蓮子)U!

U)待たせたね。

蓮子)いつも遅いのよ……………もう!

藍)Uか……………あのベルトを持っているのはお前か?

U)ああ、これだろ?ちよつと調べる為に僕が所持していた。

藍)何か分かったのか?

U)まあ、全部では無いが、どうやらこいつは八雲紫の力を200%引き出す為のベルトのようだな。

藍)その通り。いくらお前でも使いこなせる代物ではない!

U)鼻から思ってたねえよ。こいつで戦う気なんてさ。メリー、ベルト貸してくれ。

メリーはベルトを外し、Uに手渡した。Uはベルトを受け取ると同時に今持っていたベルトをメリーに渡し、ベルトを装着し、咲夜のオーブをはめた。Uは咲夜の姿となる……………

U)さあ、反撃タイムと行こうか。

果たして、Uと八雲藍の戦いはどうなるのだろうか……………?

To Be Continued……………

第16話 融合した力

咲夜の姿となったUは時を止め、一方的に攻撃する。再び時が動いては止まり、止まつては動く。その繰り返し。まさにリズムに乗せた作業の繰り返しだった。

U) 幻符「殺人ドール」!

Uは擬似スペルカードで八雲藍を追い詰めた。

Uはナイフを投げた……しかしそのナイフはスキマの中に吸収された。

U) ……八雲紫か………!

スキマの中からUの投げたナイフを持った紫が現れた。

U) 例のベルトを調べさせてもらったが、あれは使用者の精神をお前が喰らうらしいな。まさか………

紫) その話は後で聞きましょうか………

U) だが、お前が相手でも負けるつもりは無い。

紫) 倒せるかしら? 私を。

すると八雲紫は黒く染まったオーブを自分の中に入れた。それはアナザー紫の力だった。

紫) 例のベルト以外では私には勝てない………覚悟しなさい。

Uは再び時を止めようとするが、Uの腕を紫は掴み、0距離でUの身体に弾幕を放った。

U) うあっ!!

Uは強制的に変身が解除されてしまい、ベルトは蓮子達の元へ転がった。

U) うあっ………!!

Uの意識は朦朧としながらも八雲紫への反抗の目はきえなかった。

紫) U、貴方には少し眠ってもらおうわ。

紫はUの手を掴みながらスペルカードの体制になる。

紫) 結界「光と闇の網目」。

再び0距離だった。Uの上半身の服が大破し、華奢な彼の肉体が顕となり、同時にUは気絶した。紫は彼をお姫様抱っこ風に抱え、アナ

ザー紫の力を解除した。

紫) 博麗神社の地下で貴方達を待っているわ。彼は私達の手に落ちた。返して欲しければ貴女が今持っているベルトを持って来なさい。

紫はメリーを指さして言った。

メリー) この……………ベルトを……………？

紫) 但し期限は3日。それまでに来なかったら彼を殺すわ。それと
そのベルトを持ってこなかった場合もね……………

紫は彼の喉元にナイフを突き立て言った。

紫) 貴女の選択、楽しみにしてるわ。

紫は藍と共にスキマで消えてしまった。

まだ体力が回復してない2人は立てず、逃がしてしまった。

蓮子) 私達のせいでUが……………！

メリー) ……………蓮子、行くしかないわ……………博麗神社の地下に
……………

蓮子) ええ！

2人は立ち上がり、博麗神社の地下に向かった。そして博麗神社の
地下、紫はUの大破した上半身の服を脱がし、彼の手を鎖で縛り天井
から吊るした。

紫) マエリベリー・ハーン……………貴女の身体は私の物になる……………
その為にUを人質にしたんですもの。来ない訳がないわ……………フフ
フツ……………

紫は暗い笑みを浮かべていた……………

To Be Continued……………

第17話 八雲紫の力

蓮子とメリーは博麗神社の地下に着いた。そこにはボロボロのUが手から吊るされていた。

U) 本当に……………きやがったのか……………

蓮子) アンタを犠牲にする気はないわよ!

紫) 無駄よ。例のベルトが無い限りね……………

メリー) これでしょ?

メリー) ベルトを取り出した。

紫) 覚悟は出来たの?

メリー) まだ微妙……………

紫) ふふふつ、なら勝てないわね……………

笑みを浮かべた紫は弾幕をぶつける。

U) うあつ!

それを見たメリーは怒りを覚えた様子だった……………

メリー) 許さない……………! 私は貴女を……………!

メリー) ベルトを装着した。

蓮子) メリー……………?

メリーはベルトのサイドバックルにあるオーブケースから紫のオーブを取り出した。

メリー) 覚悟は……………出来たわ……………!

メリーの身体に八雲紫の力がオーラ風に現れた。

メリー) 貴女を倒す……………! U君を救う為にも……………!

紫) そう……………それで良いのよ……………!

紫はアナザー紫の力を再起動する。

2人はスキマ空間で弾幕をぶつけ合った。

メリー) 貴女の目的は何!?

紫) 貴女の身体に入り込み私自身を強化する為よ。その為にそのヤクモドライバーを作ったし、Uを人質にしたし、アナザー能力者も生み出した。

メリー) え……………?

メリーは驚いた。

紫) 貴女の境界の隙間を感じられる力は私以上に思えるわ。それが欲しいのよ……………

メリー) ふ……………ふぎけないで!

メリーは怒りを任せ、紫を突き飛ばした。そして……………

メリー) 結界「光と闇の網目」!

メリーは擬似スペルカードでは無く、八雲紫本人のスペルカードを放った。八雲紫からアナザー紫の力が失われ紫は気を失った……………しかし、気を失ったのは肉体で、紫の肉体から出てきた魂がメリーの中に入り込む。

メリー) あ……………ああ……………!

紫) 貴女の身体……………貫うわ……………!

甘いような声でメリーの意識を奪い、メリーの身体のスピリットは八雲紫になってしまった。

スキマからメリーの身体を手に入れた紫が現れた。

蓮子) メリー! 倒せたの!?

紫は黙っていた。

蓮子) メリー?

紫は蓮子の頬を叩いて突き飛ばした。

蓮子) メリー!?

U) そいつは……………八雲紫だ……………!

紫) 正解よ♪

紫はUの拘束を弾幕で外した。

U) くっ……………

蓮子) 大丈夫!?

U) こっちはな……………

紫) フェイズ1……………完了……………!

紫は落ちていた傘を拾い、スキマで消えてしまった。

蓮子) メ……………メリーが!! どうしよう……………

U) 落ち着け。

蓮子) 落ち着ける訳ないでしょ!?

蓮子は彼を突き出し泣き出した。

蓮子はメリーと言う親友を失い失意のどん底に叩き落とされた。
果たして、紫の目的は？Uはどう動くのか？

To Be Continued………

第18話 悲劇の始まり

人里に戻ったUと蓮子。しかし、蓮子は失意のどん底に叩き落とされた。Uは蓮子を見るが、口を開こうとしない。

蓮子) メリー……………メリー……………!!

ずっと彼女の名を呼び泣いていた。

U) なあ、蓮子。話したい事があるんだが……………

蓮子) 何……………?

U) 実はあのベルトを調べた後に探知機つて奴をつけたんだわ。悪いけどお前のポケットに機械を入れて置いてたんだよ。これで大方の場所は掴める。まだメリーを諦めるのは早いぜ?

蓮子) でも……………八雲紫の魂がある以上それはメリーとは言えない……………秘封倶楽部も解散ね……………

蓮子は泣きながらそう呟いていた時……………

U) あ、そうだ。1つお前に言いたい事があった。心して聞けよ?

蓮子) え……………?

U) お前は……………甘ったれた事しか言えないのか!?

蓮子) ……………!!

蓮子は驚いていた。彼が怒るとは思っても無かったからだ。

U) 良いか!?!お前はメリーを助けたいんだろ!?!それなのに弱気になってどうする!?!お前は……………お前は……………メリーがいなきや秘封倶楽部じゃないって言うのか!?!

蓮子) ……………!!

蓮子は黙り込んでいた。そしてUの表情はいつものにこやかとした顔に戻り……………

U) お前が……………秘封倶楽部はお前が引つ張ってるんじゃないのか?……………でも、メリーを助けたいのはお前が一番強いのもお前だ……………

蓮子) 確かに……………うん。

U) 僕はお前のその望みを現実にする為にも協力する……………だから……………絶望に満ちた顔はもうやめろ……………

蓮子の目から涙は止まり、蓮子は彼に笑顔を見せた。

U) そうさ……………それでいいんだ。

彼は彼女の頭を撫でた……………

一方その頃……………

紫) マエリベリー・ハーンの身体を手に入れた今、私の力は強化された。

藍) はい、確かに今まで以上のパワーを感じます。となれば……………

紫) ええ、この姿を究極形態にする最強のアイテムを完成させる必要があるわね。このヤクモドライバーに適した最強アイテムの完成はどれくらいかかる？

藍) まだ形しか出来ていないので……………まだかなりの時間を有します。

紫) なら焦らなくてもいいわ。確実に完成するのを待ちましょう。

藍) わかりました。

紫) 暇潰しの道具はまだまだあるのだからね……………ふふふつ……………

紫は数個のアナザーオーブを持ち、笑みを浮かべていた。こうして上の章は八雲紫の思い通りに話が進んだ。果たして、中の章の行方は……………?そして、秘封倶楽部は八雲紫に奪われたメリーを取り戻す事が出来るのだろうか……………?

To Be Continued……………

第2部 幻想郷記録く中の章く

第19話 新章・変わらない歴史

ここは命蓮寺。かつてUが訪れた場所の一つである

U) さてと、反応はここにあるか……………

蓮子) でもそれを使って本当に見つかるの？

U) 知らん。

蓮子) やっぱりダメか……………

蓮子は肩を落としていた。

U) まあ、見つけるしかねえだろ。

こうして命蓮寺の境内に入った。そこには……………

白蓮) あ、お久しぶりです、Uさん。

U) や……………やあ白蓮さん。

白蓮は首を傾げた。何故Uの返事内に間が生まれたのか疑問に思ったのだ。Uと蓮子は小声で話した。

U) 嘘だろ……………？今まで5人の能力者が記憶を失っていたのに

……………

蓮子) どうなってるのよ？

Uは白蓮に聞いた。

U) 能力って今も問題なく使えるか？

白蓮) 当たり前じゃないですか。

U) やっぱりだ……………どうなってるんだよ!?

白蓮) 白蓮はまた首を傾げた。するとそこへ……………

蓮子) あれは……………!

U) アナザー白蓮……………って言ったところか。

Uと蓮子はベルトを装置し、蓮子はUのオーブ。Uはレミアアのオーブをセットした。それぞれ変身し、アナザー白蓮に攻撃する。

白蓮) あれは……………私……………?

白蓮は混乱していた……………するとそこへ……………

??) あのアナザー能力者を倒す為にはお前の力が必要だな。

白蓮) あなた誰です!?

??) そうだな。俺は……………

男は何かを言った後、ブランクオーブを白蓮の体内へ入れた。

白蓮) あ……………あああ!

男がオーブを白蓮の体内から取り出した。それは白蓮のオーブと
なっていた……………

U) 蓮子! 一気に押し切るぞ!

蓮子) ええ!

蓮子は霊夢のオーブをUのオーブにセットした。

そして2人は疑似スペルカードを放つ。

U) 神槍「スピア・ザ・グングニル」!

蓮子) 霊符「夢想封印II」!

スペルカードは成功したが、アナザー白蓮は大したダメージを受け
ていなかった……………

U) やっぱダメか……………

するとそこに白蓮の姿があった。

U) 白蓮さん!……………ってわけではなさそうだ。

その白蓮の姿をした者はベルトを装着していた。U達とは少し形
の違うベルトを……………

??) これで終わりだ。

謎の男は、そのオーブを武器に装填し白蓮の力を纏ったその武器で
アナザー白蓮を攻撃した。

U) どうなってやがる……………

白蓮) 気を付けて! その人は私の力を!

U) 分かってるよ。

男は変身を解除し、U達の方を向いた。

U) お前……………誰だ?

??) 俺か? 俺は鶴川聖也。お前達の持つベルトの新型。オーブドラ
イバースecondの使用者だ!

鶴川聖也は何者だろうか? この話の続きは次回へ……………

To Be Continued……………

第20話 深まる謎

蓮子) オーブ……………ドライバー……………!!?

聖也) お前達のベルトはプロトタイプに過ぎない。だがこのベルトはその改良型にして正式な戦闘用ベルトだ!

U) 成程……………お前が言いたいのはお前等には負けねえよって言いainだろ?

聖也) そうだ。俺は最強だ。例え相手が幻想郷最強の1人と言われるU……………貴様でもな!

U) そうかい。

聖也) それとお前等のオーブを全て渡せ。

蓮子) 何ですって!?

聖也) オーブが10個揃った時、それ等は最強のオーブを完成させる! 全てのオーブの力を発揮出来る最強のオーブがな!

U) そうか。僕達が今持つてる7つとお前のそれと、残りの2つを組み合わせれば完成するんだな……………?

聖也) そうだ。それを手に入れるのは俺だ! 新型のオーブドライバーを持つ俺が!

U) 聞くが、新型を持つているからお前は最強なのか?

聖也) そうだ! 俺は新たな物にこだわる主義でな!

U) 紛い物だな。お前の力は。

聖也) 何!?! 貴様……………!

U) お前の言う力とやらは、鍛えるとか言つて錘を大量に身体に付けるバカと大して変わらない。

聖也) U……………貴様!!!

U) 僕はいつでもお前の相手をしてやるぞ?

聖也) 今はそれどころでは無い! 俺は残りの2つを手に入れる必要がある! お前の相手をしている暇はない!

聖也は命蓮寺から素早く去ってしまった……………

蓮子) 何アイツ……………!

U) 気にする必要は無いさ。アイツはまだ分かってないんだよ。力

の意味ってやつをさ。それより白蓮さんの方が大事だ。
すると白蓮がUの元に向かって来た。

白蓮) Uさん……………今のは!?

U) 記憶が……………残っている……………?

更に謎が深まった。何故聖白蓮は記憶を失っていないのか……………?

蓮子) なんで……………?

U) 分かん。それより……………あの事は忘れた方がいい。

白蓮) ええ……………?

U) 頼む。相変わらず自分勝手ですまんが……………

蓮子) 自覚はあるんだ……………

U) うるせえ。

白蓮) 分かりました。私の胸の内だけに留めておきましょう。

U) 僕は八雲紫を追いかねばならないが……………反応が消えた

……………これは……………地底か……………地霊殿かな……………?

蓮子) 行けるの?

U) 行った事あるからな。

蓮子) そうなんだ……………

白蓮) ではお気をつけてくださいね。

U) ありがとう白蓮さん。行くぞ蓮子!

Uはスキマを作り出し、地霊殿に繋がた……………

蓮子) ま……………待ってよ!

蓮子は慌て気味にスキマに入った……………

果たして、残りの2つのオーブを手に入れる事は出来るのか?それとも鶴川聖也に奪われてしまうのか……………?

To Be Continued……………

第21話 奪われるオーブ

U) さて、地底に来たな。何時ぶりかな……………

こいし) あ、Uだ〜!

U) 久しぶりだなこいし。

こいし) 何しに来たの〜?

U) えーと……………

さととり) 私に用があるのでしよう?

U) あ、うん。

蓮子) この妖怪が……………!

さととり) 私は古明地さととり。この子は古明地こいしですよ、宇佐見蓮子さん?

蓮子) うわ!?なんで!?なんで私の名前!?

U) さととりは相手の心が読めるんだよ。あの目を通してな。

U) はサードアイを指さした。

蓮子) え!?怖いんですけど!

U) 大丈夫だ、僕もそう思ってた時期がある。

さととり) それで八雲紫について調べてるのでしょうか? 私達は何一つ知りませんが……………今の貴方方はこれが必要のようですね?

さととり) は2人が聞く前にオーブを差し出した。

蓮子) 早……………

さととり) これを渡せば私は能力を失うようですが、貴方方が八雲紫の変な野望を打ち砕くのに必要なら是非どうぞ。

U) でもいいのか?

さととり) 構いませんよ。私にとっては心が読めなくなっただって……………ね。

すると外から音が聞こえた。そこにはアナザーさととりがいた。

U) 蓮子、話はどうあれ、まずはアイツを倒すぞ。

蓮子) 了解っ!

2人はベルトを装着した。Uはレミアア、蓮子はUのオーブをセツトし変身。更に蓮子がさとりのオーブを使おうとした時だった

……蓮子の手から突如オーブが消えた。

蓮子) あれは……鶴川聖也!!

聖也) 悪いな、こいつは俺のモンだ!

聖也はオーブドライバーbasecondを装着、そしてさとりのオーブをセットし、さとりの姿になった。

さとり) あれは……私ですか……

聖也) さあ、お前の消える時だ!

聖也はアナザーさとりに攻撃する。アナザーさとりは彼の心を読み反撃しようとするが、彼も心を読み、攻撃する。アナザーさとりは攻撃がぶつかり、膝をつかせた。

聖也) さあ、トドメだ。

聖也は武器にさとりのオーブをセットし、さとりの力を纏った攻撃をする。アナザーさとりは爆散した。

聖也) これで残るは1つ……

すると爆散した所にメリーの姿を手にした八雲紫がいた。

U) 八雲紫……

蓮子) メリーの体を奪った奴……!! !

聖也) 幻想郷の管理者であり、幻想郷最強の1人……か。面白い

……!! !

聖也は心を読み、八雲紫を倒そうとしたが、心が読めなかった。その為に八雲紫に攻撃されてしまう。

聖也) うあつ!……バカな……!! !

紫) 貴方のベルトがどうあれ、私には勝てない。このヤクモドライバーある限り……!! !

紫はヤクモドライバーを装着し、紫のオーブをセットした。そして、八雲紫の姿となった……

To Be Continued……

第22話 2人分の力

U) 面倒くせえ事になったな。

聖也) ふつ、だが八雲紫の姿に戻ってしまつては意味があるまい！

U) いや……………それならメリーの身体を手に入れた意味が無い。

蓮子) え……………？まさか！

U) ああ、アイツは……………

聖也は再び武器にさどりのオーブをセットし、さどりの力を纏つた攻撃をする。

紫) 無駄よ。

紫は結界で攻撃を跳ね返す。

聖也) ぐわあああ！なら……………これでどうだ！

聖也は白蓮のオーブをはめ、姿を変える。

U) よせ。今の奴には勝てない。

聖也) なぜそう言いきれない！

U) 奴のベルトを調べたのだが、とてつもない力が秘められている。

オマケに追加の物を装着出来る部分があるんだ。

聖也) なんだと……………？

紫) 流石ねU。その事を見抜くなんて……………

U) 設計者までは知らんが発案者はお前だろ？

紫) そうよ。私の最強化の為のアイテムも現在開発中よ。

聖也) そんな事は俺が許さん。

U) 話聞いてた？アイツはメリーの体を使っている。だから力も普通の八雲紫以上のはずだ。

聖也) 知るか！このベルトを持つ俺は最強だ！負ける訳は無い！

聖也は武器に白蓮のオーブをセットした。

U) バカな奴だ……………！

聖也は八雲紫に切りかかった。

紫) 話を聞いてないおバカさんは嫌いよ？

八雲紫はスペルカードを放つた……………

紫) 結界「光と闇の網目」。

聖也) 何!?!うわあああ!!

鶴川聖也はモロにスペルカードに被弾。そして変身が解除された。

聖也) く……………くそっ!

紫) 私への敵対勢力はこれ以上要らないわ。

紫は聖也にトドメを刺そうとする。すると……………

U) おい、それは違うんじゃないか?

Uは変身を解き、セイバーで紫を攻撃した。

紫) あら、こんな人間を守るの?

U) こんな人間だから守るんだよ。

紫) 相変わらず優しいわね。でもそれが命取りになるわよ!

紫は弾幕で反撃する。Uは落ち着いてセイバーで対処する。

聖也) お前……………さつき何故変身を解いた?

U) アナザー能力者でないならこっちの方が戦いやすい。それも相手が八雲紫だからな。

紫) 流石私の強敵ね……………今日はここまでよ。私はまだやる事があるのね。

紫はスキマで消えてしまった。

聖也) U。借りが出来たな。だが、後1つのオーブとお前達のオーブは俺が手に入れる!

鶴川聖也は素早く去っていった。

蓮子) 強い相手ね、八雲紫……………

U) 対抗手段はオーブを集めるしか無いもんな。

蓮子) で、次の反応はどこなの?

U) ……………冥界だな。

蓮子) 冥界なんて行けるの!?

U) 行ったことあるから大丈夫だ。

Uはスキマを作り出し、冥界へと繋げスキマの空間に入った。

蓮子) 待ってよう!

蓮子は走ってスキマの空間内に入った……………

To Be Continued……………

第23話 最後のオーブ

冥界……………

U) 着いたな、ここが冥界の白玉楼。

蓮子) 意外と大きいんだね。

U) まあ、人里の建物より豪華なだけだがな。

蓮子) そうなんだ……………

妖夢) U!

妖夢) 走って来た。

妖夢) 久しぶりね、U。

U) そうだな、妖夢。

蓮子) この人が魂魄妖夢ね!?

妖夢) 貴女は?

蓮子) 私は宇佐見蓮子よ!よろしく!

妖夢) こちらこそ。

U) ところで聞きたい事があるんだがいいか?

妖夢) どうしたの?

U) こんな知らないか?

U) オーブを取り出した。

妖夢) あ、これの事?

妖夢) オーブを取り出してU達に見せる。

U) 間違いない、僕達の探し求めていたオーブだ。

妖夢) 欲しいならあげるよ?

U) ありがとう。

U達は妖夢のオーブを手に入れた。それは最後のオーブを手に入れた事になる。

妖夢) 帰り道気をつけてね?

U) 分かってるよ。

U達は白玉楼を離れた。すると同時にアナザー妖夢が現れた。

蓮子) やっぱり出た。

U) 僕に任せてくれ。こいつを使うか。

Uはベルトを装着後、妖夢のオーブをセットし妖夢の姿となる。

U) さて、細切れにしてやるぜ!

蓮子) 魂魄妖夢ってそんな人物じゃないよね!?

Uは2本の刀で攻撃する。アナザー妖夢も2本の刀で応戦するが、セイバーで個人流とは言え、剣術をマスターしている為、アナザー妖夢を圧倒する。

U) これで終わりだ。

Uは擬似スペルカードを放った……

U) 幽鬼剣「妖堂餓鬼の断食」!

擬似スペルカードで、アナザー妖夢は爆散した。

U) やったな……

Uが変身を解除したその時だった……Uの手にあつた妖夢のオーブを鶴川聖也が奪いとつた。

聖也) これで3つだな。

U) 鶴川聖也か。

聖也) 名前を覚えてくれたとは嬉しい限りだ。

蓮子) アンタ……何の真似!?

聖也) これで全てのオーブは揃った。後はお前達から全てを奪うのみだ。

U) 成程な。最初からこれを狙ってた訳か。

聖也) その通り。アナザー妖夢を倒させたのも作戦の内だ。

U) めげない男だぜ。

聖也) U、あの時の借りはここで返そう……!

蓮子) 全く、私を忘れないでよね!

聖也は妖夢のオーブをベルトにセットし、妖夢の姿となる。蓮子が対抗してUのオーブをセットした。

しかし、Uは変身する様子を見せない。

蓮子) 変身しないの?

U) 相手はアナザー能力者じゃねえんだ。こっちの姿の方が戦いやすい。

聖也) どちらでも俺が勝つ!そして……お前達のオーブを奪う

.....!

こうして、オーブを賭けた戦いが始まろうとしていた.....!

To Be Continued.....

第24話 オーブ争奪戦

鶴川聖也は2本の刀で攻撃をした。Uはセイバーを使い楼観剣を抑える。

聖也) こつちの刀に当たれ!

白楼剣はUに刺さろうとしたが、Uはセイバーを楼観剣の鍔迫り合いから外し、白楼剣に攻撃し、彼の手から白楼剣を手放され、すぐさまセイバーは楼観剣に対応する。

聖也) 何!?

U) まともに剣を触った事ない奴には負ける自信は無いぜ……!!
Uは楼観剣ごと鶴川聖也を押し切った。鶴川聖也は楼観剣も手放し倒れた。

聖也) なら、これでどうだ!

すぐさま彼はさどりのオーブをセットし、さどりの姿となる。

U) 心を読む戦法か……

鶴川聖也はUの心を読み、攻撃をする。しかし、どう攻撃しても、ダメージこそは当たるが、たいしたダメージにはならなかった。

聖也) 何故だ……??

その答えかどうかは分からないが、Uは無意識の内に鶴川聖也の一部の攻撃をセイバーで捌いていた為、まだ彼を戦闘不能に追い込むダメージには持つて行けてない。

蓮子がUのオーブに早苗のオーブをセットし、鶴川聖也を追撃する。

聖也) 甘いな!

聖也は蓮子の攻撃を見きったかのように反撃する。

蓮子) きゃあああ!

それと同時に彼女の変身は解除され、彼女が持ってた霊夢、魔理沙、早苗、勇儀、Uのオーブを落としてしまう。聖也はそれらを拾う。

聖也) レミリアと咲夜の力はお前が持っているようだな。

U) それがどうした。

聖也) だが、8つの力を持つ今の俺には勝てん。

聖也は早苗のオーブをセットし、早苗の姿となる。

U) 早苗の力…………… 不味い……………!

Uはセイバーで攻撃するが、奇跡の力が発動し彼の攻撃をかわし、彼の腹を殴る。

U) がはっ!!

彼は腹を抑え立ちすくむ。

聖也) くらえ!

鶴川聖也は武器にUのオーブをセットした。Uは回避したが、早苗の力が発動し、武器の形状が都合のいいように変化。その先端は拳のような形になり、Uの腹部に直撃する。

U) がはあっ!!!

彼は血を吐き、地に転がった。それと同時にレミリアと咲夜のオーブを落としてしまう。鶴川聖也はそれも拾う。

聖也) これで……………10個のオーブが揃った!

するとオーブは共鳴し、それぞれのオーブの力は組み合わせられた。

聖也) 遂に手に入れたぞ……………フルソウルオーブを!

そう、これこそ鶴川聖也が追い求めていた、10個のオーブの力を同時に引き出す為のオーブ。フルソウルオーブであった……………するとその直後スキマが開いた。

紫) 完成したようね。フルソウルオーブ……………

八雲紫が笑みを浮かべてスキマから現れた……………

To Be Continued……………

第25話 起動しないオーブ

スキマから出て来た八雲紫はヤクモドライバーを装着した。そして、彼女の本来の姿となる。

聖也)今の俺はお前にも負けん……………!

鶴川聖也はフルソウルオーブをセットした……………が、起動せずエラー音らしきものが鳴る。

聖也)え……………?そんなバカな!ベルトの故障か!?

鶴川聖也は再びオーブをセットした……………が、やはりエラー音が鳴るだけである。

聖也)なんで……………フルソウルオーブで変身出来ない……………!?

八雲紫はクスクスと笑い答えた。

紫)貴方はそのオーブの使用者で無かっただけよ。

聖也)なん……………だと……………!?

鶴川聖也は衝撃を受けた。「オーブが俺を……………新型のベルト、オーブドライバiber secondの使用である俺を受け入れなかった……………?」その言葉が彼の頭をよぎった。

紫)打つ手無し……………かしらね、せっかくのフルソウルオーブが使い物にならない以上……………ね。

八雲紫は腹黒い笑みを浮かべていた。すると……………蓮子はフルソウルオーブを鶴川聖也から奪い取り、八雲紫の前に立った。

紫)あら、貴女は確か私が今使っている肉体の子の親友……………だったかしらね。

聖也)待て……………!新型のベルトの使用者で無いお前には……………!

蓮子)それでも……………やらなきやいけない時がある……………友達を……………親友を……………放っておける訳ないじゃない!

蓮子は自らの内を明かし、オーブドライバーにフルソウルオーブをセットした。するとオーブはその蓮子の心に応えたかのように、効果を発動する。まず、Uの力か、蓮子の身体に鎧が装着され、残りのオーブ9つをそれぞれ鎧に吸収され、全てのオーブが吸収された時に、鎧は黄金の光を放った……………!

聖也) 何……………!?! 変身しただと……………!?!

U) (あのフルソウルオーブの使用資格者は蓮子だったか……………やはり予想した通りだったか……………しかし、八雲紫、お前はそれすら狙ってるのか……………?)

蓮子) 八雲紫! 私は貴女を倒す! 親友のメリーを……………いえ、大親友のマエリベリー・ハーンを貴女の手から取り戻す!

蓮子がそう叫ぶと鎧が再び黄金の光を放った……………!

紫) 出来るかしらね? 10個のオーブの力を同時に使えるフルソウルオーブを使つて……………?

紫はまだ腹黒い笑みを浮かべていた……………

U) (やはり八雲紫はこの戦いの勝敗の有無や、力の有利不利等は全く考えてないだろうな……………だとすれば何が目的だ……………? それしてなんであんな笑みを浮かべる……………?)

蓮子と八雲紫の戦い、その内容は次回……………

To Be Continued……………

第26話 腹黒き笑みの意味

蓮子) まずはこれ!

蓮子は霊夢の力を使い、お祓い棒をオーブから取り出す。

紫) 霊夢の力ね……………?

お祓い棒で攻撃する蓮子をかまし、宙を浮く八雲紫……………しかし、蓮子は立て続けに霊夢の能力を発動し、八雲紫に勝るスピードで攻撃する。

紫) 成程……………

蓮子は次にレミアアの力を使い、グングニルを八雲紫目掛けて投げる。彼女はそれをかわすが、それを狙ってたかのように魔理沙の力を使い、八卦炉からレーザーを放った。それは八雲紫に直撃する。

紫) 成程……………中々の強さね……………でも、私の力はそう遠くない未来に貴女を越えるわ……………

八雲紫の笑みは全く変わる事無く、彼女はスキマで立ち去った。蓮子はフルソウルオーブを外し変身を解除した。

聖也) 返せ!

鶴川聖也はフルソウルオーブを蓮子から奪い取った。すると、Uが彼の頭を軽く殴る。

U) お前は蓮子に助けられた。それだけの事だろ? アイツのお陰でお前は助かったんだ、感謝ぐらいしろ。

聖也) うるさい……………奴の変身は……………まぐれだ!

彼は捨て台詞を吐き、素早く立ち去った。

蓮子) でも変身するオーブは全て失っちゃったね……………

U) こいつか?

Uは数個のオーブを持っていた。それは鶴川聖也に取られた白蓮、さとり、妖夢の3つを除く残り7つのオーブだった。

蓮子) いつの間に……………

U) アイツ殴った時に取り返した。

蓮子) 神がかり過ぎるわよ……………

一方……………八雲紫は……………

紫) データは取れたかしら? フルソウルオーブの力の……………

藍) はい、しっかりと取りました。今そのデータを組み込んでいます。

紫) それで完成かしら?

藍) はい、この作業後に紫様の望むアイテムが完成します。

紫) よくやったわね藍。私がUをも越える最強の力を得る為には、ヤクモドライバー、マエリベリー・ハーンの身体、そして、このアイテムの3つ。ふふふつ……………笑いが止まらないわ!

八雲紫の腹黒い笑みの意味はこの事を刺していた……………

彼女は。このアイテムの完成の為にフルソウルオーブを使った蓮子と戦ったのだった。そして……………

藍) 完成しました。

紫) 遂に完成したのね……………!

八雲紫はそのアイテムを手にする。

紫) 全ての空間を操る力を込めたアイテム……………ヤクモガジェット……………これはヤクモガジェットよ!

こうして、八雲紫は最強の力と姿を手に入れる為のアイテムを手に入れた事になる。オマケに、八雲紫に有効な力を持ったフルソウルオーブは鶴川聖也の手にある為使えない。果たして、八雲紫の野望を止める事は出来るのか……………?

To Be Continued……………

第27話 裏の鬼の力

地上……………

U) 戻ってきたか……………地上に……………

蓮子) U! あそこにアナザー能力者が!!

そこにはアナザー能力者がいたのだった。

U) あの姿は星熊勇儀……………アナザー勇儀つてどこか……………

そう、勇儀の姿をしたアナザー能力者だった……………

蓮子) でもなんで……………?

U) まだ勇儀の力は正式継承してないからじゃないか?

蓮子) ……………成程ね!

Uと蓮子はベルトを装着した。Uはレミリア、蓮子は勇儀のオーブをセツトし、それぞれ姿が変わる。

蓮子) 行くわよ!

U) ああ。

2人は力を合わせ攻撃をする。やはり正式継承してないとは言え、アナザー勇儀には、勇儀の力が有効だった。

蓮子) 行ける……………!

蓮子は擬似スペルカードでアナザー勇儀を倒そうとするが、その時蓮子を殴った者が1人。それはアナザー勇儀では無く……………

蓮子) きゃあああ!

蓮子は変身が解除されてしまった。オマケに宙に舞っていた時に勇儀のオーブを落としてしまい、地上に激突した時にオーブは碎けてしまった……………

蓮子) あぐつ!

蓮子は地上に激突して、ダメージが更に深くなった。

蓮子) 何すんのよ!

勇儀) 最近能力者の偽者がいるって噂されて私の偽者がいたと思つて殴ったんだが……………

Uは変身を解除して言った。

U) あのなあ、ドツペルゲンガー現象じゃねえよ。

勇儀) U!.....なんだ、Uの仲間だったのか.....

U) お前の一撃で普通の人間は死ぬ可能性あるんだから気をつけてくれよ.....んで、お前の偽者はあっちだから。

Uはアナザー勇儀を指差した。

勇儀) なんだアイツ? 私にあまり似てないぞ?

U) まあ、確かにそうかもしれないが勇儀の力以外じゃ勝てねんだよ。

蓮子) 勇儀のオーブは砕けちゃったし.....

U) ん? 勇儀の力.....? 待てよ.....そう言えば!

U) が言い終わると同時に勇儀はアナザー勇儀を殴っていた。それはアナザー勇儀にはかなりのダメージを与えた.....

勇儀) おい、私の偽者よ? 私の姿を真似するとはいい度胸してるな.....?

勇儀の声はドスの効いた物だった.....

勇儀) おい、U。アイツ倒すぞ。

U) ああ!

蓮子) 私を忘れ無いでよ.....

蓮子はUのオーブをセットし、そのまま霊夢のオーブをセットする。

蓮子) さあ、鬼狩りの始まりよ!

勇儀) それを味方の鬼の前で言うか?

U) アハハ.....とりあえず行こうぜ!

蓮子) うん!

勇儀) ああ!

3人は戦闘態勢をとり、3人はアナザー勇儀との戦闘に身を投じた.....!この戦いの全ては次回に続く.....

To Be Continued.....

第28話 最後の継承

鶴川聖也視点……………

彼はフルソウルオーブを取り出し、自分に何が足りないのか考えていた……………が、勇儀のオーブが砕けた為に、フルソウルオーブは真っ黒になり力を失った……………

聖也) !?……………何が起こった……………! !

慌てて彼は持つてるオーブを確認する為にオーブケースを開いた……………

聖也) 3個しかない……………!?!……………Uの仕業か……………! !

彼はこの事に頭を抱えた……………

秘封倶楽部視点……………

Uと蓮子は協力して、アナザー勇儀の行動を制限させる。そこに勇儀の拳がアナザー勇儀に入る。Uでさえ大ダメージを受けてしまう勇儀の攻撃に加え、アナザー勇儀の弱点である勇儀の力が重なり、大ダメージを与えている。

蓮子) 本人でも大ダメージを与えられるのね……………

U) まあ、勇儀は力を失ってないからな。

勇儀) そう言えばそんな異変が起きてるんだってな。既に8件起きてるんだよな……………待てよ? 10個目は誰の力なんだよ?

U) 僕のだ。それで10個のオーブの力が生まれたからな。まあ現在我々の手には無いが。

こうして話しながら戦っている内にアナザー勇儀は膝をついた……………

勇儀) 行くぞ!

U) ああ!

蓮子) ええ!

勇儀はスペルカード、Uは必殺技、蓮子は擬似スペルカードの体制になった……………

勇儀) 鬼符「怪力乱神」!

U) 「ワイルドソニックアタック」!

蓮子) 霊符「夢想封印Ⅱ」!

3人の力が同時にぶつかり、アナザー勇儀は爆散した……………

勇儀) やったな!

U) まあ、そうなんだが……………

蓮子) オーブが砕けちやつたからそれどころじゃないのよね……………

勇儀) あ、これと似たようなやつ持つてるぞ? ほら。

勇儀はポケットから取り出した。それは間違いなく勇儀のオーブだった。

蓮子) あーっ!

U) 勇儀のオーブ……………!

勇儀) 欲しいのか? やるよ。私には必要無いしな。

勇儀はUにオーブを渡した。

U) ありがとう。

Uはそのまま蓮子に勇儀のオーブを渡そうとしたが、蓮子は小声で言った。

蓮子) Uの方がそのオーブの力を引き出せるわよ!

蓮子はUと勇儀との信頼関係を見てそう判断した……………

勇儀) じゃ、またな!

勇儀は地底に戻る為立ち去った……………

再び鶴川聖也視点……………

聖也) !?……………オーブが元に戻った……………!?

鶴川聖也は一時星熊勇儀の力が失われ、ベルトの使用者の元に勇儀の力が戻って来た為に、フルソウルオーブは元の色に戻り、光を放っていた。勿論その事を知らない為に鶴川聖也は困惑していた……………
聖也) とりあえず残りのオーブを取り返さないとまた同じ事が起こりそうだ……………

鶴川聖也は立ち上がり、秘封倶楽部の2人の元へ向かった……………

To Be Continued……………

第29話 勝利の糧

蓮子) 一時はどうなるかと思ったけど……これで10個の力が完全継承されたんだよね？

U) だが、10個継承した証のフルソウルオーブは鶴川聖也の手の中にある。あれ無しで八雲紫の野望を止めれるとは到底思えない。

蓮子) そうよね………

するとそこへ………

聖也) お前等のオーブを返して貰おうか！

鶴川聖也が7つのオーブを回収する為に再び2人の前に立ちはだかった。

蓮子) 鶴川聖也………！

聖也) お前達の実力では俺に及ばない事は知っている筈だ。大人しく渡せば命だけは助けてやる。

蓮子はベルトを取り出し、対抗しようとしたその時、Uは蓮子を止める。

U) それはどうかな？

聖也) 何………？

U) 力が及ぶ及ばないは過去の戦いで決まる話じゃない。敗北こそ勝利への道を踏む為の経験………言わば勝利の糧だ。それが分からないようならお前は今の僕には勝てない。お前はその力に守られるだけだしな。

聖也) どこまで俺をコケにすれば気が済む？俺を超える者など本来存在しない！

鶴川聖也はベルトを装着し、さとりのオーブをセットし、その姿となる。

聖也) 心を読めば一発で終わる………!?心が読めない!?

そう、今のUは無意識状態なのだ。Uはそのまま攻撃を仕掛ける。手当たり次第に攻撃をする。Uの心が読めない鶴川聖也にはかわすしか選択肢は生まれなかった。Uはそれを突き、急に無意識を解除し、キックする。そして鶴川聖也は吹き飛び、変身は解除されてし

まった。

聖也) バカな……………！俺がこんなあっさり負けるはずは……………

U) お前はまだ経験が浅すぎる。浅すぎるからこそ、こんな予想外に対応出来ない。

Uの手にはフルソウルオーブがあった。

聖也) 何!? かつ……………返せ!

U) お前には無用の長物だろ? 現にこいつにまだ一度もこいつに認められず、変身出来てない。

聖也は黙って何も言い返せなくなった。事実なのだから……………

U) 人の力つてのは誰でも扱える代物じゃない。扱う覚悟が無ければならない。それも生半可なものじゃない。例えその為なら死すらも覚悟する勇氣がいる。お前が普通のオーブを使えるのはわかったが、お前はそれを100%引き出せてはいない。

聖也) ……………!!

鶴川聖也は衝撃を受けていた。

聖也) ならあの娘も……………!

U) ああ、こいつが100%出せないのはただの経験不足だ。覚悟は出来てるみたいだな。無意識に……………

蓮子) 何その言い方。

U) 悪い悪い。

聖也) ふざけるな……………!

鶴川聖也はこの時Uを100%以上恨んでいたのだった……………

To Be Continued……………

第30話 鶴川聖也の過去

秘封倶楽部の2人は鶴川聖也が今何も出来ない事を分かっていた為、彼を置いて八雲紫の反応を探していた。鶴川聖也は体力がまだ回復してない為、そこに寝転がっていた。

聖也）俺はこのベルトを手にして、誰にも負けない力を手に入れたはずだ………なのにUや八雲紫に勝てない。その上で、戦いなんて口々に知らない小娘がフルソウルオーブの資格者だと………？こんなバカな話があるかよ！

彼は悔しがっていた。しばらくして落ち着きベルトを外した時、鶴川聖也はこのベルトを初めて手にした時が脳裏に焼き付きだした。

聖也）俺が初めてベルトを手にした時………

「俺はこのベルトを手に入れるまでは幻想郷の端の村に住んでいた。特別何がある訳ではない慎ましやかな村だったが俺は幸せだった。家族がいて、友がいて、優しい村人の皆がいた。だがそんな幸せだった生活は八雲紫に砕かれた。奴は幻想郷のバランスの為と言いつつ俺達を皆殺しにした。俺だけは唯一生き残る事が出来た。運良く地下にいたおかげでな。しかし村の皆は全滅だ。俺は悔しかった。あんな妖怪の事情の為に俺達の生活を壊されたんだから………しばらく悲しみにくれていた。しかしある日、俺はその日も悲しみにくれていた。そこに青い髪の自称河童の女がこのベルトを渡してくれた。そして（命蓮寺、地底の地霊殿、冥界の白玉楼に行け。そして残り7つのオーブを手に入れ、フルソウルオーブを完成させろ。）と俺に行つて奴は去っていった。結局アイツは何だったのか。それは俺にだって分からない。が、聖白蓮の力を手に入れ、俺は確信した。このベルトとフルソウルオーブがあれば八雲紫にも負けるはずはないとな………」

聖也）だが俺は八雲紫と2度戦う機会を与えられたと言うのに、1度目は歯が立たなかった。しかもあろう事かあのUに助けられた！2度目はフルソウルオーブが起動しなかった。そのフルソウルオーブを使い、八雲紫に有利な戦いをした戦闘に関しては俺より下のはず

の小娘……俺は……俺は本当に誰にも負けない力を手に入れたのか!?俺は……俺は……俺は……

鶴川聖也は地面に拳を打ち付け声をあげた。自らの悔しさを地面に拳をぶつけても、その悔しさが晴らされる事は無かった。彼がベルトを手に入れる意味は何だったのだろうか。それは誰にも分からない。それが分かるのはまだまだ先の話になる事だろう。その時すら誰にも分からないままではあるが……

To Be Continued……

第31話 地下室の秘密

U) しかし、皮肉なものだな。反応がよりにもよってここなんだからな……………

そう、2人はかつてUが捕らえられ、メリーがヤクモドライバーを使い、八雲紫がメリーの肉体を奪ったあの博麗神社の地下に来ていた。答えは簡単。ヤクモドライバーに付いている探知機はここに反応していた。

U) 思いっきり今立っている位置に反応してるんだがな……………ん？
待てよ……………

蓮子) どうしたの？

U) まさか……………

Uは怪しげな機械を破壊した。すると隠されていた階段が見つかった。

蓮子) これって……………！

U) 地下室の更に地下室があるのか……………ややこしい設計してやがるよ……………

蓮子) でも八雲紫達はこの機械を破壊せずにどうやって地下を行き来してるのかしら？

U) 簡単な話だ。八雲紫のスキマだよ。奴の力ならそういう事は容易い。ある意味それが煙幕になってこの階段を隠し、本拠地とも言える更なる地下室を隠していた。いつもふざけたやり方を考えてくるな八雲紫……………

蓮子) そう言えばUは八雲紫とは何度も戦ってるんだっけ。

U) ああ、戦績は72勝64敗だ。

蓮子) そこまで厳密に覚えてるのね……………それに結構負けてるんだね……………

U) ま、腐っても幻想郷の管理者だ。雑魚じゃ話にならないはずだ。アナザー紫の時は1杯食わされたな。

蓮子) もしかしてそれって戦闘面だけじゃなくて知略面も含んでる……………？

U) そうだな。

蓮子) 因縁が深すぎる……………

U) それよりこの地下室を調べないとな。

2人は階段を下って行つた……………

蓮子) 暗いし深い……………

U) そうじゃない地下室がどこにあるんだよ。でも深さが異常なのは分かる。

蓮子) Uが火を魔法でおこせるとは思わなかつたよ。

U) いつの間に相手の能力の初歩をコピー出来るようになってしまったらしい。僕がスキマを使えるのはそれが理由さ。因縁の相手すぎていつの間にかアイツに負けなくらいに強くなってしまった。アイツは霊夢達との戦いだって面白半分だからな。なにせアイツは初代博麗の巫女と共に並んだ事があるとか無いとか……………つと、無駄な話はここまでだ。

2人は怪しげな扉を見つけた。

U) 何があるかは分からない。無鉄砲には行くなよ？

蓮子) 分かつてる……………！

Uは扉を破壊し突入した。するとそこには八雲紫、八雲藍、橙がいた。

紫) やつぱり掘り当てて来たわね。ヤクモドライバーに何か仕込んでいたみたいね。不覚だわ。でも、貴方達のお陰で助かったわ。最強のアイテムを完成させたのだから……………

八雲紫が作り上げた最強のアイテムとは……………？

To Be Continued……………

第32話 最後のアイテム

八雲紫はヤクモドライバーを装着し、紫のオーブをセットし本来の姿となる。そして例の最強のアイテムを2人に見せつけた。

U) ガジエツトつてやつか。

紫) そうよ、これを作る為にわざわざ協力者を雇ったのだから……

U) ……なるほどな、アイツならやりそうだ。

蓮子) ……アイツ？

U) 河城にとり。アイツは河童なんだが、同時に発明家だな。アイツは今まで幾つかの僕のパワーアップアイテムを作った奴なんだ。

紫) でもその内の一部のアイテムは修復中で使えないでしょう？

U) ……そうだな。でもそれで幾度となく敵を倒してきた。破損しても後悔はしてない。で、どういう力を持つてるんだ？アイツが作ったんだったらやばいアイテムなのは予想できるが。

紫) 見れば分かるわ。このヤクモガジエツトの力をね！

八雲紫はオーブを外しヤクモガジエツトを装着した………がエラー音が鳴った。

紫) ……え？そんな、完璧に仕上げたはずよ！

八雲紫は再び装着するがやはりエラー音が鳴る。

紫) そんな………そんな事は！

U) 珍しく取り乱してるな、八雲紫。

紫) ヤクモガジエツトが使えないとはね………

U) そうか………それは違うな。

紫) 何を言ってるのかしら？

U) お前にはそいつを使う資格が無いんだよ。

紫) そんなプログラムは入れた覚えは無いけど？

U) いや、にとりの強化アイテムは使用者にダメージを与えないようにする為に、その力に耐えられない時は起動しない機能がデフォルトで入ってる。そいつはフルソウルオーブの力を参考にして出来た力のようなからな。仮にそいつの力に耐えられる奴がこの世にいる

としてもお前は絶対違う。

紫) そんなバカな……うっ!?

八雲紫の変身が強制的に解除され、彼女は蹲る。

藍) 紫様!?

蓮子) 何が起きてるの!?

U) ……多分、メリーの精神が八雲紫と戦ってるんだな。あのガジェットのせいかは知らないけど。

蓮子) 何故メリーが急に八雲紫の精神と戦っているの!?

U) これは予想なんだが、あのガジェットは八雲紫では無く、メリーを欲しているんじゃないかなと思ってる。

蓮子) そんな事有り得るの!?

U) 八雲紫に近い力。更に膨大な力を持つメリーの力に取り憑かれた八雲紫は、未来にいるメリー。即ちマエリベリー・ハーンを僕の時代の幻想郷に誘った。お前達の京都にいた人間全員を巻き込んでな。

蓮子) なんで私達の時代から……??

U) 多分……八雲紫とメリーは本来共に存在する事は出来ないんだと思う……

メリーの魂は八雲紫と戦っていた。その全貌は次回……

To Be Continued……

第33話 戻る魂

メリー視点……………

メリー)……………

??) キミノセイシンハイツメザメル？

メリー) !?、誰!?

メリーの精神に直接語りかけてくる何か……………それは八雲紫が河城にとりに協力させて作ったヤクモガジエットの声だった。勿論その声は聞こえないどころか、本来なら特定の人物を欲する事は無い。しかし、にとりが作ったせいなのか。ヤクモガジエットは使用者にこだわるようになっていた。

??) ボクハキミノネガイヲカナエタイ。

メリー) ちよつと待って！あなた誰!?

??) ボクハヤクモガジエット、ヤクモユカリニツクラレタ、イワユルキョウカアイテム。

メリー) なら何故私を欲するの？

??) ヤクモユカリノヤボウ、ボクハソンナコトノタメニツカワレタクナイ。キミ二八、ヒフウクラブのカツドウヲフタタビシタイ。フタリノナカマトトモニ……………

メリー) それが……………私の願い……………

??) キミガヤクモユカリニトリツカレタトキニウマレタネガイ、デモキミハソレヲムイシキニソノネガイヲオサエコンデシマッタんだ。

メリー) あなたはその願いを助けてくれるの？

??) モチロン。ボクハキミノネガイヲカナエタイカラ……………

紫) そうだったのね。貴女はそんな願いを持っていたの……………なら、貴女を消してその願いを破綻させるわ！

八雲紫はメリーの魂を握り潰そうとする……………が、メリーから放たれた光は、八雲紫の魂を追い出した……………

U達視点……………

紫) きゃあああ！

八雲紫の魂がメリーの身体から出てきて、近くに寝かされていた八

雲紫自身の肉体で目覚めた……………

紫) そんな……………馬鹿なことが……………!

意識を取り戻したメリーはユカリガジェットをヤクモドライバーから引き抜き、構える……………

メリー) ヤクモガジェット……………力を貸して!

??) オーケー!

その声はメリーにだけ聞こえた……………

メリーはヤクモガジェットをヤクモドライバーにセットする……………すると八雲紫とメリーが合わさったかのような姿となった……………

紫) あ……………あれこそ私が追い求めていたもの……………ヤクモメリーフォーム……………!

U) 八雲紫とメリーの力が合わさったかのような力を感じる……………!

メリー) 長い間私の身体で好き勝手やってくれたわね八雲紫……………私は貴女を倒す!

紫) 面白いわ。なら貴女を倒してヤクモメリーフォームの力を手に入れる……………!

メリーと八雲紫の決戦……………果たして、ヤクモメリーフォームの力は如何程のものか……………?この続きは次回へと続く……………

To Be Continued……………

第34話 二つの力

八雲紫は弾幕を放ち攻撃する……………が、ヤクモメモリーフォームとなったメリーは、全く同じ攻撃で相殺する……………

紫) 成程……………自らを相手にしているようなものね……………!

八雲紫は弾幕の密度を細かくする……………が、メリーに同じ攻撃をされてしまう為再び相殺……………

メリー) 今の私に貴女は勝てない!

メリーは弾幕を放ち攻撃、八雲紫はそれを相殺しようとするが、威力が大きく、彼女は威力の殺せなかった弾幕に命中する……………

紫) きゃあああ……………やるじゃない。私の力を使ってここまで戦いが出来るなんて驚きよ……………そしてそれこそ私自身が望んだ力なのよ……………

メリー) 確かに貴女が造ったと考えると皮肉なものだけど……………ヤクモガジェットは私を選んだ!

メリーは、八雲紫の周りに結界を張った。そうする事で八雲紫を閉じ込めた。

紫) 成程……………私を閉じ込めて何も出来なくさせるという事ね……………?

メリー) ……………

紫) でも甘いわ、私と同じ力なら私には破壊する事が出来る!

八雲紫は結界を破壊した。しかし、メリーからすればそれが狙いだった。同じ力の持ち主なら破壊にも同じ時間がかかる。その結界が破壊される時……………その時を狙えばいい……………これなら結界を破壊したばかりで隙だらけの八雲紫にダメージを与えられる……………そして、それは現実として起こった……………

紫) くっ……………マエリベリー・ハーン。貴女にその力を預けるわ。それをどうするかは貴女の自由……………私はその選択肢を楽しみにしてるわ……………

八雲紫はスキマで八雲藍、橙と共に消え去った……………

蓮子) 追いかけてられないの!?

U)…………ヤクモドライバーがこちらの手にある以上は探知機は意味が無い。これで奴の行方は本当に行方不明になったな…………

メリー)大丈夫よ。いずれあつちから顔を出してくるわ…………

U)違いねえな。

何故か彼等は笑顔だった。それに釣られるように蓮子も笑ってしまった。

蓮子)なんかこの3人が揃うのも久しぶりじゃない？

メリー)確かに！

U)長い間色々あつたからな。ま、八雲紫に関してはしばらく放置でいいだろう。

蓮子)なんで？

U)今のアイツに何も出来やしない。それはメリーか今証明してくれた。問題は…………鶴川聖也だな…………

メリー)鶴川誠也…………誰？

U)今までの僕達のオーブを奪ってフルソウルオーブを完成させた奴だ。ま、使う事は出来なかつたな。だが再びオーブを奪われても困る相手ではある…………

そして、物語は終盤へと向かう…………

To Be Continued…………

第3部 幻想郷記録く底の章く 第35話 無意味な力

人里の外れ……………

U) やっぱりいたか……………鶴川聖也。

博麗神社の地下を出た秘封倶楽部。しかし、Uは人里の外れに向かいたいと告げる。何故ならそこに鶴川聖也が来る事を知っていたからだ。理由は彼の習性だった。Uは彼なら八雲紫との戦いが終わり、消耗してる所で戦闘に持つていくつもり……………なのを予想していた。だからこそ彼は自ら引つ掛かりに行った。彼の好奇心で……………

聖也) U……………貴様……………!

U) どうとう恨みしか考えられなくなったか? 鶴川聖也。

聖也) 元はと言えばフルソウルオーブは俺が生み出したもの……………だから使う資格は俺にあるはず……………

U) なら教えてやろうか? お前がフルソウルオーブを使えない理由。

聖也) 何……………?

U) そう言う憎しみの心。自らの欲望しか無い時点でお前は使えない。

聖也) 人間は欲望にまみれているはず……………

U) 誰も欲望にまみれた人間しかいないとは言っていないぞ?

聖也) な……………!?

U) 僕が言ってるのはその欲望に向き合っているからだ。

お前は向き合えて無い。そりやお前にも何かの為に戦ってるからこそフルソウルオーブを欲している……………てのは分かっているよ。でも性格が歪んで自らの欲望に向き合えなくなった奴には使えないって事だ。

蓮子) なんで……………?

U) 原因は僕だろうな。

聖也) お前に助けられる自分は惨めだった……………俺は……………そんな

俺を捨てたのだ!

U)それがダメだと言ってんだろ。

聖也) 黙れ!

鶴川聖也はベルトを装着し、妖夢のオーブを装着した……妖夢の姿となった後に楼観剣と白楼剣を装備してUに攻撃する。Uは楼観剣をセイバーで防ぎ、白楼剣は鶴川聖也の左手を蹴り、白楼剣から手放させ、彼の左腕を左手で掴む。

U)やっぱりまずい方向に行っちゃってるなコイツ……

聖也) 黙れ!

鶴川聖也はUを突き飛ばした後に妖夢のオーブを外し、白蓮のオーブをセツトする。

蓮子) メリー、私達も戦った方が……!

メリー) その必要はたぶん無いよ……

蓮子) なんで?

メリー) U君からすればあの鶴川聖也? って人は敵じゃないようだし……

蓮子) しかもそれをベルト無しで……

メリー) 相手がアナザー能力者だったからこそ彼はベルトを使ってた訳で、普段の姿の方が彼は戦いやすいのよ……

蓮子) U本来の力って事……?

メリー) ……多分。

そう、事はメリーの言う通りだった。果たして、Uは鶴川聖也相手にどのような結果を出すのか? 彼が自ら戦いに行ったのか……? それは次回に続く……

To Be Continued……

第36話 憎しみの闇

聖也) 何故だ！俺は何故こんな奴に勝てない!?

U) 完全に闇へ飲まれかけている……………なら……………!

彼は鶴川聖也の頭に手を置き、そこから彼の闇を探る。

蓮子) U……………何をやってるの!?

メリー) 分からないけど……………何かしようとしてるのは分かるわ

……………

Uは彼の精神の中に入り込んでいた……………

U) アイツの闇……………かなり大きくなっている……………これ全部あい

つの憎しみか……………

彼は闇に手を触れる……………

U) くっ……………!

闇はUを飲み込もうとする……………

U) こいつの闇を……………取り除く!

Uは大量の光の力を放ち、闇を破壊する……………それは外の方でも何となく把握出来た。鶴川聖也から闇が抜けていく……………

蓮子) 鶴川聖也から闇が抜けてる!?

メリー) Uが何かをやってくれたって事ね……………

しかし、この行動は弱点もあった。Uは先程の行動で大半の力を使ってしまった、フラフラだった……………まだ闇の抜け切っていない鶴川聖也は無防備のUの腹を殴る……………

U) がはっ!

Uは腹を抑えフラフラと倒れる。

蓮子) U!

鶴川聖也は闇が抜けている中、体力が殆ど残っておらず、隙の大きい彼を攻撃し続ける……………

U) あぐっ! がはっ!

気がつけば彼は血を吐いていた……………そして、手に力も入らなくなり、彼は大の字に倒れていた。鶴川聖也は無防備の彼の腹を踏みつける……………

U) あ……………くっ……………

彼は気絶してしまつた……………そして鶴川聖也はトドメを刺そうとするが、闇が抜けきつた為我に返つた……………

聖也) 俺は……………何を……………!?

鶴川聖也はUを踏みつけている事を知ると……………

聖也) U……………? うっ……………うわあああ!

彼は突如大声をあげてその場からいなくなつた。そしてすぐに蓮子とメリーはUに近づく……………

蓮子) U!、U!

メリー) かなり衰弱してる……………人里に戻つて手当した方がいいわね……………

蓮子とメリーはそれぞれ彼の肩を持ち人里まで歩いた……………

蓮子) Uって……………見た目に反して重いわね……………

メリー) U君の見た目が小柄でも、彼は男の人なのよ? 私達より体格が太くてもおかしくないでしょう?

蓮子) そう言えば……………

メリー) 私より長くU君といふのに、気づかなかつたの……………?

2人はUのダメージを回復させる拠点を探す……………そして鶴川聖也がUを踏みつけている事を知つた後に発狂した理由はなんなのか……………更に何故Uはそこまで鶴川聖也の闇を取り除こうとしたのか……………? その答えはまだそれぞれにしか分からないのだった……………

To Be Continued……………

第37話 罪滅ぼし

即席病院病室……………

U) しかし、未だにここが残ってるとはな……………

メリー) 戦争の時に大いに役立ったからまだ残しているみたいよ。

U) 成程な……………

蓮子) U、身体はもう大丈夫なの？

U) まあな。

蓮子) 血を吐いてたからどうなる事やらと思ったわ……………

U) あれ日常茶飯事だぞ？

メリー) それはUだけだと思うわ……………

その時、扉が開いた……………鶴川聖也だった……………

蓮子) 鶴川聖也……………!

メリー) 何しに来たの……………?

聖也) 今日は……………謝罪と感謝をしに来た。

U) ……………

聖也) U、今まで済まなかった。俺がフルソウルオーブを欲していたのは本当だが、お前に助けられた時から何故かそんな自分が憎く感じた……………その為に闇に飲み込まれていたようだった……………だがお前は俺の闇を取り除いてくれた。感謝する……………

U) ああ。

聖也) 何か俺に出来る事は無いか？

蓮子) 今更罪滅ぼし!?

聖也) まあ、そう思われても仕方ないよな……………

メリー) でもそれを決めるのはU君だと思おうわ……………

U) ……………そうか。

Uは真面目な顔をして鶴川聖也に言った。

U) 僕達の八雲紫討伐に協力しろ。

聖也) ……………は？

鶴川聖也は混乱していた……………

U) だから協力しろって言ってるだろ？

聖也) 一応とは言え、俺はお前の敵なのだぞ？

U) 八雲紫を倒そうとしてるのは僕達もお前も同じだろう？だから言っているんだ。それに、何故京都が幻想郷になってしまったのかが分からないままだからな……………

蓮子) そう言えばそうだったわね……………アナザー能力者とか八雲紫と戦ってばかりでその事をすっかり忘れていたわ……………

メリー) 確かに……………すっかり忘れてたわね……………

聖也) 京都って何だ……………？

U) 知らなくて当然だよな。外の世界の地名だもんな。

聖也) 今幻想郷は外の世界と繋がっているようなものなのか？

U) 詳しく説明しないとダメなのか……………蓮子とメリーが説明してくれ……………

蓮子) 丸投げ!?

U) は知らん振りをして眠ってしまった……………

蓮子) 起きてよー!……………ってすっかり耳栓してる!……………痛!

……………な？で耳栓に結界張ってんのよこいつはー!ー!

メリー) アハハ……………私達が説明するわ。

その後蓮子とメリーは自分達は外の世界の者。幻想郷と京都が八雲紫の手で繋がっているような状態になっている事。自分達が生活している外の世界とはどのような所なのか説明していた……………内容は省略……………それより、現在何処にいるのか分からないままの八雲紫……………そしてこの時、月が動こうとしていた……………

To Be Continued……………

第38話 再び現れる姉妹

Uは2、3日で回復し、無事退院。鶴川聖也を加えた4人で行動する事になったが、八雲紫の行方は分からない。人里を出た辺で、空から何か降りてきた……………

U) あれは……………綿月姉妹か。

そう、綿月姉妹が突如降りてきたのだ。

蓮子) 空から人が!?

聖也) 似たような話をどこかで聞いた気がするぞ……………

メリー) あれは綿月姉妹……………金色寄りの短髪の方が綿月豊姫、紫色の長髪でポニーテールにしてる方が綿月依姫みたい。Uとも共闘した事があるって……………

依姫) あら、知っているのかしら?

豊姫) でもこの子八雲紫に似てるような……………

U) 別人だよ。それよりどうしたのさ。

依姫) 幻想郷の反応が2ヶ所出て来てね。何かあったのかと……………
U) 八雲紫に聞いてくれそんなの……………と言うかそれだけで2人同時に来ないだろお前ら……………

依姫) まあね。そんな事は二の次よ。でもこっちの幻想郷にUがいて助かったわ。

U) なんでだ?

豊姫はUにベルトと冷気を放つオーブを渡した。

U) なんだこれ!?

依姫) このベルトは帝王のベルトって言う月の秘宝なのよ。最近見つけたんだけど使い方がまるで分からないのよね。それとこのオーブは真子ちゃんから預かったの。

U) 真子が?

豊姫) 私達が月に戻る時にくれたの。

U) お前、人の娘拉致ろうとしたもん……………

蓮子) Uに子供なんていたの?

メリー) あ、あった。白宮真子。Uの一人娘でマイナスの温度の力

を扱うのに長けた少女。冬と雪は彼女が操ることが出来る……月
の神のUの娘なので不思議な子だとしても何らおかしいことでは無
いのだが……

蓮子) Uって月の神だったの………?

メリー) 見たいね。でもその著者も詳しくはわからないみたいだ
けど………

U) 僕がよく分かってないからな。

聖也) だから自分でもよく分からない力となる訳だな………

U) まあ、そゆことだ。

依姫) とても月王を倒した人とは思えないわね………

豊姫) そんなものだよって真子ちゃんと言ってたわよ?

依姫) Uに近い真子ちゃんでも分からないのね………

U) とりあえずありがとうな2人も。

依姫) 私達はそろそろ月に戻るわね。また会える時を楽しみにして
るわ。

豊姫) じゃあね、U

U) ああ、またな。

2人は月に向かって飛んで行った………

聖也) あれが本物の月の民なのか………

U) 僕を偽☒と言ってるのと同じ発言するなよ………

こうして、綿月姉妹はUに帝王のベルトと真子のオーブを渡した。
しかし、真子のオーブから尋常ではない力が放たれている事をUは
悟っていた………

To Be Continued………

第39話 八雲紫の罠

聖也)しかし、恐ろしい冷気がそのオーブから出てるが白宮真子もそんな冷気を操れるのか？

メリー)うん、零下273.15度の力を出すことなんて朝飯前って書いてるわよ？

蓮子)つまり……………どういう事？

メリー)地球上の物質を何でもかんでも凍結させる事が可能って事よ。

蓮子)それってチートじゃないの!?

メリー)Uの子供だから有りなんじゃないの？

U)お前それ言えばいいと思ってるのか？

紫)盛り上がってる所悪いけど、私は用件があるわ。

聖也)八雲紫……………!

U)ヤクモドライバーとヤクモガジェットを取り返しにでも来たのか？

紫)いや、私は貴方に用があるのよ？U。

U)何の用だ。

紫)私と1対1で戦ってもらおうわ。

U)……………分かった。

Uはセイバーを持ち、帝王のベルトと真子のオーブを蓮子に持たせる。

U)さっさと終わらせて、お前の野望を洗いざらい吐いてもらおうか。

Uはセイバーで攻撃する。紫も弾幕で反撃する……………

U)(何故所々弾幕の密度が浅い……………何を考えてやがる……………だがけど、そこを狙う!)

Uは所々弾幕の密度が浅い部分に動き、攻撃を回避する。そしてセイバーで攻撃する。八雲紫は左手でUの手を掴む。

紫)かかったわね。

U)何!?!まさか……………!

紫) そのまさかよ。

紫の右手にはブランクのオーブがあった。そしてそれを彼の前にかざす。オーブにUの力が流れて行く……………

U) あがつ……………やめ……………!

力が流れきり、Uは気絶してしまった。そしてオーブはアナザーUのオーブとなった。

紫) ふふふつ、これでUは何も出来ない。オマケに私は最強のアナザー能力者を生み出すことが出来た!

八雲紫は掴んでいたUを投げ飛ばした。鶴川聖也が魂魄妖夢の姿に即座に変身し、投げ飛ばされた彼の身体を掴み、その後抱える。

紫) 私の崇高な目的はもう誰にも止められない。貴女達はそれを見ている事しか出来ないのよ!

八雲紫はスキマで消えてしまった。

メリー) これで八雲紫はUの力を手に入れてしまったのね……………

そう、これで八雲紫は幻想郷の中で最強とうたわれているUの力を手に入れてしまった。果たして、八雲紫の野望はどのような影響を及ぼすのか……………

幻想郷の何処か……………

藍) 紫様、紫様に頼まれていた2つの力を取ってきました。

紫) なら、それは貴女と橙にあげるわ。

藍) ありがとうございます。紫様。

紫) それと早めにヤクモドライバーとヤクモガジェットを回収してもらえるかしら? やっぱりあの力は惜しいわ。

藍) かしこまりました。

紫) 私の目的はあと少しよ……………

To Be Continued……………

第40話 禁断のオーブ

蓮子) U……………大丈夫？

U) 僕の力が奪われたとは言え、今はまだ騒ぐ程じゃない。

蓮子) でも……………！

U) まだ完全には奪われてない……………完全には……………な。

蓮子) それってどういう……………

橙) 紫様の命令よ！貴方達の持つてるヤクモドライバーとヤクモガジェットを渡しなさい！

蓮子) 猫が喋った!?

U) あ、橙。確か八雲藍の式神だったか？

橙) そうよ！私こそ藍様の式神、橙！

メリー) でも弱いつてこの本では書いてるわよ？

橙) それはどうかなく？

橙) アンザーオーブを持っていた。

橙) これで私は無敵よ！

橙はオーブを自分の中に入れた。変身した姿は真子の姿をした怪物だった……………

U) アンザー真子……………つて事か。

Uを除く3人はベルトを取り出したが、Uはそれを止める。

U) 僕にやらせてくれ。この真子のオーブを調べる為にも……………

Uはオーブドライバーを装置し、真子のオーブをセットした。その時、Uの身体を冷たいで済ませることは出来ない冷気と電撃が走った……………

U) うっ!?!うあああっ！

Uは何とか真子の姿となるが、荒い息をしていた。

橙) 私は本物の力があっても負けないわよ！

橙は氷の弾幕を放つが、Uの近くに行つた弾幕は凍りつき、橙に跳ね返る。

蓮子) 冷た……………!どうなってるの今のUは……………？

U) ハアツ、ハアツ……………

Uの荒い息は止まらなかつたが、それでも何とか動くことが出来て、Uは疑似必殺技を放つ……………

U)「アイシクルマシンガン」……………!

マシンガンの弾が橙に直撃。アナザー真子のオーブをあつさり破壊する。

橙) そんな……………覚えてなさい!

橙は早い逃げ足で逃亡した……………

蓮子) やったね、U……………U?

すると突如Uが後ろにいた蓮子達の方に倒れた。蓮子が彼を抱えた。その直後、真子のオーブが一人でに外れた。

聖也) !……………ベルトが……………!

いつの間にかベルトは凍りついていた。そして間もなくベルトは音を立てて爆発した。Uは無事だったが、真子のオーブのマイナスの力でかなり衰弱していた。

蓮子) Uの身体がとても冷たい……………これがこのオーブの力なの……………?

そう、白宮真子にはU以上の潜在能力があった。その為Uの身体は真子のオーブに込められていたとてつもない力と冷気によつてたつた数分で衰弱した。オマケにベルトもその力に耐えられず爆散したのだつた……………

メリー) とにかくU君を早く温めなきゃ!

まだ人里から言う程離れていなかったおかげで即席病院にまで運ぶのは簡単だつた。圧倒的な力を持ち、禁断のオーブと言われてもおかしくない真子のオーブ。このオーブを使いこなす方法はあるのか……………?

To Be Continued……………

第41話 マイナスをもたらすオーブ

その後即席病院に運ぶ事は出来たのだが、彼を温め初めて早2時間。Uの体温は平熱まで回復していなかった……………

蓮子)Uの体温はまだ28度……………普通なら凍死してるわよ……………
メリー)U君人間じゃ無いから……………

聖也)しかし、オーブドライバーがここまで木っ端微塵に砕けるとはな……………

蓮子)白宮真子のオーブの力……………ここまで恐ろしい強さを持つていたのね……………

聖也)俺の予測通りならフルソウルオーブ以上だ……………フルソウルオーブですら、ベルトに傷1つ付けないから……………

蓮子)それと問題は……………この帝王のベルトって奴かな……………

メリー)名前の由来すら分からないし、このベルトとオーブになんの関係があるのか……………

数時間後……………

メリー)U君の体温……………36.0度……………平熱ね。

聖也)まさかUの体温が戻るのに70度の部屋に入れて、数時間もかかるとは……………

彼の体温は戻ったので、Uを温めていた部屋の温度を戻した。

U)ん……………?何だこの厚着は!?

蓮子)U!

U)蓮子……………

メリー)大丈夫?U君?

U)まあ、大丈夫だ。それよりなんでこんな厚着なんだ?

メリー)U君の身体は白宮真子のオーブのマイナスの温度で体温が尋常ではない程に下がっていたの。温める為にそんなに厚着してたのよ。

U)成程……………僕もまだまだだな……………

聖也)今回ばかりはこのオーブが原因だと思うが?

U)……………へいへい、わかったよ。

そして、3日の時が経ち、Uは退院した……………

U) よし、体調もバツチりだ！

蓮子) Uって回復力早いよね……………

U) そうか？

そんな会話をしていた時だった……………

メリー) !、空を見て！

なんと空は雲1つ無いのに、紫寄りの闇色に覆われていた。

U) なんじゃこりや……………

Uは人里の外を出る。すると……………そこには八雲紫達がいた

……………

蓮子) 八雲紫！

紫) ラストフェイズと参りましょうか。私が完全な幻想郷を完璧に支配するためのね……………

メリー) どういう事!?

紫) 貴方達の行動は全て私の思い通りに動いた。

U) 最初から僕達はコイツの掌で踊らされていた訳か……………!

紫) 貴方達を消す前に私の崇高な目的をお教えしましょうか……………あの世への手土産として……………私はこの地上全てを幻想郷とし、皆私の為に生きる平等な世の中を作る事……………迫害の世を無くす為の……………パーフェクトワールド。

八雲紫の今までの行動は全てこの為だった……………果たして、八雲紫の野望は完成してしまうのだろうか、それとも秘封倶楽部がそれを止めるのだろうか……………

To Be Continued……………

第42話 覚悟の変身

U) 八雲紫、1つ矛盾があるぜ……………

紫) 矛盾……………?

U) お前は平等な世の中を作ると言ったな? でもお前の為に働く世界なんて殆どのやつがゴメンだ。オマケにお前のようなトップを作っちまったら平等とは言わないんじゃないのか?

紫) フッフ……………何を言い出すかと思えば貴方の正論を語っただけかしら? なら何故私の為の世を作ろうとしているのか教えてあげるわ……………世の中の人間は殆ど無知な人間しかいない。私のような指導者がいなければ右往左往しか出来ず、最大のチャンス、成功を見送る。どうしようもない者達。しかし世界はそれを改めようとはしない。自らの利益の為に……………なら、利益を求めている私がこの世を支配すべきなのよ。質問はそれだけかしら?

紫の手にはアナザーUのオーブがあった。そして、それを自らの中に入れる……………そしてアナザーUとなった。

紫) 貴方は私に力を奪われ、ベルトも壊れた。今の貴方は誰かに守ってもらうしか無いのよ。

U) そいつはどうかな?

Uの左手を見ると、彼の左手は帝王のベルトを掴んでいた。そして懐から真子のオーブを取り出す。

U) 月の連中に感謝しかねえな。この帝王のベルトが……………僕に出来る事の1つとなる!

Uは帝王のベルトを装着した。そして、Uは真子のオーブを帝王のベルトにセットした……………その時、再びUの身体をとつともない冷気と電撃が走った……………

U) うあああつ!……………うぐあつ!

彼が苦しんでいる中、ベルトから氷の鎧が現れ、Uの全身に装着される……………

紫) 成程……………貴方が持っていた最後の対策ね……………

U) ………………僕の今の姿は……………コウテイブリザードフォーム……………

彼の声は氷のように冷たい感じがした……………

蓮子)……………U?

U)……………さがつてろお前等……………僕の冷気は……………お前達を凍らせるかもしれない……………

その冷たい声は、蓮子達にも例外なく冷たく聞こえた。

蓮子)……………U?

メリー)蓮子、U君の言う通り離れましょう? 私達も凍り付いてしまいかもしれない……………あの尋常ではない温度を纏っているようなU君の無意識に……………

蓮子)……………くっ!

蓮子は彼をサポートしたいのを抑えて、彼の近くから離れた……………

紫)成程、素晴らしいマイナスの力ね……………

U)僕のマイナスの力は……………闇とは違う……………温度のプラスマイナスを指している……………!……………お前を……………ぶっ潰す……………!

U対八雲紫。お互い最強の姿となったこの戦いは次回に続くのだった……………

To Be Continued……………

第43話 制限時間

Uはコウテイブリザードフォームとなった事で、全ての行動が強化されていたが為に、アナザーUとなった八雲紫にそこそのダメージを与え続けた。しかし、Uの力を持っている八雲紫にはまだ致命的なダメージは与えていなかった……

蓮子)Uが押している気がするけど……ダメージは与えられてないような……

メリー)いや、ダメージは与えてるわ……でも相手はU君の力を持った八雲紫……U君みたいに尋常ではない能力や強さを持っている可能性があるわ……

聖也)最強の力を持っているからこそ敵にその力が回ると恐ろしい強敵になる……Uの力は全てのオーブに勝ると言えるのか……？

U)くっ……あぐっ!?

この時、Uに異常が起きていた。それはUの身体をオーブドライブバーで真子のオーブを使っていた以上にマイナスの温度が蝕んでいた。

紫)限界が来たかしら？

U) どんだけ強いんだよアイツの力は……!!

紫) 何十年も経ったが故にあなたの身体能力等より強くなってしまったんじゃないかしら？

U) ……確かにアイツの力の可能性は僕より高い事は知っていたが……ここまではな……!

次第にUの動きが鈍り始める。

紫) そこよ。

隙だらけのUの腹を八雲紫は殴った。

U) がはっ!

紫) 一瞬揺げは脆くなる。貴方の最大の弱点ね、U。

八雲紫の言う通り、Uが腹パンでよろけた一瞬で八雲紫は彼の背中を掴む。そして無慈悲に彼の腹を殴り続けた。

U) がはっ! あぐっ!

この時、Uは真子のオーブがもたらすマイナスの温度にも苦しめられていた。

紫) ……もう終わりかしらね。

八雲紫は彼を投げ飛ばした。Uは近くの岩に激突し、コウテイブリザードフォームが解除されてしまった………それと同時に真子のオーブは突如として消えてしまい、帝王のベルトも消えてしまった………そしてUは真子のオーブのマイナスの温度で服と同時に素肌の一部も凍りついていた………

蓮子) Uが………!

蓮子は走って、Uの身体に触れる………

蓮子) 冷た!?! ……どうしよう………!

紫) Uが倒れた以上もう、貴女達に勝ち目は無いかしら………藍、残りの連中を片付けなさい。

藍) かしこまりました。

八雲藍は、自らのアナザーのオーブを自らの中にいれ、アナザー藍となった………

藍) お前達の最後の場所はこことなる………お前達は紫様は愚か、私すら勝てないのよ………!

Uが倒れた秘封倶楽部。もう勝ち目は無いのだろうか………次回に続く………

To Be Continued………

第44話 認められた証

蓮子) どうする……………メリー?

メリー) 私が行くわ。U君をお願い、
そう言つてメリーが動こうとした時だった……………

聖也) まで、俺にやらせてくれ……………宇佐見蓮子、フルソウルオーブを貸してくれ……………

蓮子) え!?

メリー) なんでもまた……………?

聖也) Uの意地を見せられてしまったら俺もやらなきゃいけない……………フルソウルオーブでの変身を……………!

蓮子) ……………

蓮子は少し考えて、フルソウルオーブを鶴川聖也に渡す。

蓮子) 成功させてね……………八雲紫を倒せなきゃこの幻想郷は愚か、私達の京都が大変な事になるから……………

聖也) 約束する。

鶴川聖也はフルソウルオーブを受け取り、八雲藍の前に立った。

藍) お前のような奴では私には勝てない。

聖也) そうか……………だが、それでもやるしかないんだよ! お前達の野望を……………俺が止める!

フルソウルオーブはその鶴川聖也の言葉に応えたかのように光った。

聖也) !?……………フルソウルオーブ、俺を認めてくれるのか……………?

鶴川聖也はオーブドライバー second を装着し、フルソウルオーブをセットする。その鎧の形は蓮子がフルソウルオーブで変身した鎧の形とはまた違っていた……………

蓮子) 私の鎧の形とはまた違う……………!?

紫) フルソウルオーブは使用した変身者の心の底で望む鎧の形を形成する心を映す鏡のような力を持つオーブ……………他のオーブと違ってフルソウルオーブは変身者を選ぶと言うのは覚悟、心の中にある自分のイメージを欲する。あの男にはそれが足りなかった……………だけ

どUのお陰でその心を手に入れた……………嫌、思い出したと言うべきかしら……………?

聖也) お前を……………ぶっ潰す!

鶴川聖也は八雲藍に攻撃する。その攻撃は八雲藍にかなりのダメージを与えた……………

藍) ……………何!? バカな……………!

聖也) フルソウルオーブは如何なるアナザーオーブをも破壊する力を持つ!

その力のお陰で鶴川聖也は次々と攻撃し、アナザー能力者となった八雲藍を追い詰める……………

聖也) これで終わりだ!

鶴川聖也は武器にフルソウルオーブをセットし、10個のオーブの力を宿した武器で八雲藍に攻撃する。

藍) ゆ……………紫様……………!

八雲藍のアナザーオーブは粉微塵に砕けた……………

紫) 成程、藍を倒してしまっただか……………なら、私が相手をしてあげるわ。

聖也) お前も俺が倒す!

紫) 出来るかしらね……………?

八雲紫からは、笑顔からは想像出来ない、オーラが放たれていた……………次回、鶴川聖也対八雲紫……………

To Be Continued……………

第45話 最強の闇戦士

聖也) 行くぞ、八雲紫！

鶴川聖也は武器で攻撃するが、八雲紫に片手で受け止められてしま
う……………

聖也) 何!?

紫) Uの無限大の力……………それはフルソウルオーブすら寄せ付けな
い月の神の力……………!

八雲紫は鶴川聖也を掴み投げ飛ばす。鶴川聖也はフルソウルオー
ブの力で空中で体制を立て直す。

紫) そう言えばフルソウルオーブには空を飛ぶ力が加わるんだった
わね、でも……………

八雲紫は空を飛び、鶴川聖也の真上に行き、彼を真上から攻撃し、彼
を地に叩き付けた……………

聖也) ぐあつ……………!

紫) 私空中戦も得意なのよ?

蓮子) 確かにUが今までに1番負けた相手と言ってたから……………U
が空飛べるなら八雲紫も余裕で可能だよね……………

メリー) このままじゃ彼が……………負ける可能性はあるわね……………

鶴川聖也は諦めずに八雲紫に攻撃する。今度は結界が張られてい
た。アナザーUとしてでは無く、八雲紫本来の能力だった。

聖也) 2つの力を使っただど!?

紫) マエリベリー・ハーン、貴女のお陰よ。流石過去の私。

メリー) え……………? 貴女と私が同一人物……………それに過去って
……………?

紫) 過去って言うのは私の中でね。それと何故能力を同時使用可能
かと言うと、マエリベリー・ハーンの中の力が私が長い事取り憑いて
る間に私の中にその力が組み込まれたからこそ、私はパワーアップし
て、アナザー能力者と私自身の力を同時に使用出来るようになったの
よ。本当はヤクモガジェットがそれを担当するはずだったけど、運悪
く心を持ってしまった。なら最後の手段としてUの力を手に入れ、そ

れを同時使用出来た。今の私は最強よ！

八雲紫は鶴川聖也にキックをする。もちろんキック技を得意としていたUの力を持っている為、数百トンの衝撃が鶴川聖也を襲う。彼のベルトからフルソウルオーブが外れ、彼の変身は解除されてしまった……更に彼は今の攻撃で致命的なダメージを受けてしまった……

蓮子) 鶴川聖也！

聖也) 俺は……死ぬのか……？

蓮子) そんな事は……！

メリー) いや、彼のダメージは致命的なもの……助かる見込みはもう……

聖也) ……そうか、ならお前等……俺の代わりに……八雲紫を……倒してくれ……！

鶴川聖也は最後の力を振り絞り、フルソウルオーブを拾い、蓮子に渡す。

聖也) 返すぜ……フルソウル……オーブ……を……

彼はそのまま息を引き取った……

蓮子) ……メリー、八雲紫を……絶対倒すわよ！

メリー) もちろん！

2人は八雲紫と戦う事を決めた。鶴川聖也の死と共に……

To Be Continued……

第46話 思い通りの力

蓮子はオーブドライバー、メリーはヤクモドライバーを装着する。蓮子はヤクモガジェットをベルトにセットした。蓮子には10個のオーブを宿した鎧が装着され、メリーはヤクモメリーフォームとなった。

蓮子) 行くわ！

蓮子は、Uの力を使い、ZEROセイバーそっくりのセイバーを取り出し攻撃する。

メリーはスキマと八雲紫の使う似た形の弾幕で攻撃する………が、八雲紫に両方防がれる。

蓮子) 通じない………!?

メリー) 間違いない………U君の力が私達の想像の領域を超えすぎる程に強いよ………!!

紫) その通り、Uの力………いや、神の力は決して数値で測れるものではないわ。彼の力には残念ながら私も敵わない………だからこそ、フルソウルオーブもヤクモガジェットもこの力の前には通用しないのよ！

八雲紫は気付くのが少し遅かったが、Uの力を手にする事で自らは最強になれるのを考え、U本人の中にあつた力を空のアナザーオーブを使って吸収し、アナザーUを生み出した。更に自らの力が、Uの力と運悪くなのか、相性がいい事もアナザーUとなった時に無意識に知った。今の彼女は幻想郷最強は愚か、地上最強の戦士と言っても過言では無い。更に彼女はアナザーUの力に操られている様子もない以上、彼女は100%自らのままに操っていた………

八雲紫もZEROセイバーに似た、闇を纏ったセイバーを装備し、まずは蓮子を攻撃し、彼女のセイバーを弾く。そして、セイバーを蓮子に直撃させる。

蓮子) きゃあああ！

蓮子の鎧は霞となり消えた。それは変身解除を意味差していた。

メリー) 蓮子！

慌ててメリーが、八雲紫に攻撃するが、弾幕がセイバーによって真つ二つにされてしまう……………

紫) 無駄な事を……………

八雲紫は隙がほぼ無い弾幕の嵐を放った。メリーは回避こそしようとしたが、弾幕に次々と被弾していく……………

メリー) きゃあああ!

メリーのヤクモメモリーフォームも解除されてしまった……………

紫) これで終わりね……………

八雲紫は2人に向けて、弾幕を放った……………しかし……………

紫) あら……………?

なんと身体が凍りついていたUが八雲紫の弾幕を受けていた……………

U) 助かったぜ……………お陰で身体の氷が一瞬で吹き飛んだ……………!

紫) 貴方……………このときを狙っていたと言うの……………?

U) 半分はな。

蓮子) 半分?

U) もう半分は無意識だ。

紫) ……………ふふふつ、流石私の永遠のライバル……………また私を驚かせたわね……………

U) さあ、反撃開始と行こうか……………!

しかし、力は今全く無いU、だが彼は、この状況に保険をかけていた……………

To Be Continued……………

第47話 Uの秘策

紫)でも貴方には力が何も無い。先程のベルトとオーブは消えてしまったようだし、貴方の力は私の手に渡った。

U) 半分だけな。

紫) 半分……………?

U) 蓮子、僕のオーブを渡せ!

蓮子) え……………!?……………分かった!

蓮子はUのオーブをU目掛けて投げた。Uはそれを片手で取る。

紫) 貴方のオーブがどうかしたの?

U) お前はまだ詳しく知らない事が1つある。それはこのオーブを使用者が起動したらどうなるかだ。

紫) 確かにその答えは私にも分かってないわ。私のオーブは貴方達のはとは全く違うから……………

U) そうだったな、お前のオーブは人工的なものなのは分かっている。ただ、僕のも人工的なもののは間違いない事実だ。だけど……………蓮子に預けておけば他のオーブと似たような力が得られると僕は考えた!

Uはオーブを起動する。Uのオーブは消えたが、フルソウルオーブに影響は無く、Uは半分だけ本来の力を取り戻した。

U) これでおあいこだな、八雲紫。

紫) 成程、力の半分だけ預けていたのはフルソウルオーブ完成の為だけじゃ無い。貴方の力半分をオーブ達に溶かしていたって事ね。

U) お前は人工的にお前のオーブとヤクモガジェット、そしてヤクモドライバーを開発した。だから力を奪う手段があっても何ら不思議は無いと考えたのさ。

蓮子) もしかして……………Uのオーブでそこそこしかオーブの力が引き出されていなかったのも……………?

U) 僕の半分の影響だろうな。さあ、反撃開始と行こうか、鶴川聖也の仇のためにもな。

Uはヴァンパイアフォームとなる。

蓮子) Uが吸血鬼に!?

U) 偶然から生まれた力さ。とりあえずお前達の体力は何となくとは言え回復しただろ?

メリー) 助かったわU君、蓮子、私はやるわよ。

メリーは再びヤクモガジエツトを手にし立ち上がる。

蓮子) 分かったわよ! ここまで来たら勝つしかないものね!

蓮子もフルソウルオーブを再び手に取り立ち上がる。そして、蓮子はフルソウルオーブを、メリーはヤクモガジエツトを再びベルトに装着した。

U) さて、最後の決戦と行こうか、八雲紫。

紫) これで貴方達3人を纏めて葬れるのを考えれば得もある状況ね………良いわ、3人纏めて相手してあげるわ!

アナザーUとなった八雲紫との最後の決戦。果たして、勝利はどちらの方の手に行くのか………?

U) (それと僕には………一つだけ気がかりがある………)

残るページは後3ページ。戦いの決着は次回に続く………そして、Uの気がかりとは何なのだろうか………?

To Be Continued………

第48話 戦いの終結

Uは八雲紫に肉弾戦で攻撃する。

紫) あら、今の私に対して肉弾戦とは中々やるじゃ無い。でも………

八雲紫は彼の目の前に魔力を溜め込んだ手を出す。

紫) ゼロ距離の直撃はかわせないでしょう？

U) お前のそれはもう分かっている。

Uは彼女の魔力を溜め込んだ手を掴む。

U) 力が互角ってことはな………こんな事も出来るんだぜ！

Uは八雲紫を振り回す。こうなれば八雲紫が左手に集中するのは極めて困難となり、暴発。Uもダメージを受けたが、八雲紫も少なからずダメージを受けていた。そこに蓮子とメリーが追撃。集中力が乱れていた八雲紫は有効なダメージを受けてしまう。

U) トドメを刺すか………八雲紫！

Uはセイバーを手にし、全ての力をセイバーに込めた。

蓮子は、キツクの体制となり、メリーはありつただけの魔法陣を展開する。

U) マスターセイバーX！

蓮子) フルソウルキツク！

メリー) ファイナル結界陣！

3人の必殺技は全て八雲紫に命中した………

紫) きゃあああ！

紫のアナザーオーブは壊れた。それと同時にオーブに閉じ込められていた残り半分の力はUの中に戻る。

U) これで100%………か。

Uは今、力を完全に取り戻した。

紫) そんな………そんなはずは無いわ………私の目的は完璧だったはず………

U) 確かに完璧だったさ。だけど隙があった。僕の力が通じる方法を試せば越えられる僕の方が一の作戦。それにお前の目的は破られ

た。

紫) ……………!……………今回は……………私の負けね……………

U) それとお前に関して少し気がかりがあつてな。

紫) 何?

U) 僕の意識が朦朧としてたからあまり覚えてないんだが……………お前と、メリーが同一人物つてどう言う事だ?

紫) ……………マエリベリー・ハーンは……………過去の私。そう言つたはずだけど。

U) それだけじゃ情報が足りない。メリーが未来にいてその過去の時代にお前がいる理由が聞きたいんだこっちは。

紫) ……………そう遠くない未来、私の能力は暴走し、それに親友を巻き込んだ。私は親友を追い求めて全ての力を使って過去に飛ぶがそこに友人の姿は無かった。僅かな可能性を信じて私は人の姿を捨ててまでこの時代に残った。だけど内心友人を巻き込み、失つた私は真つ暗な闇に押し潰され、自らの欲望が徐々に目立ち始めた。私の友人はもういない。妖怪となつてしまった以上……………ね。

これが八雲紫とメリーことマエリベリー・ハーンが同一人物であると言う証拠だった……………そんな彼女にUはこの言葉をかけた。この続きは次回……………

To Be Continued……………

第49話 未来の可能性

U) なあ、知っているか？未来は変えられるって。

紫) 私の未来は変えられないのよ？

U) 誰がお前の運命をって言ったか？

紫) え？

彼はメリーを指差し言った。

U) コイツの未来がお前なら……コイツが今のお前とならない未来があるはずだ……少ない可能性でもな……

蓮子) そんな事有り得るの？

U) 何がなんでも起こせ、それだけ。

紫) いつもの感ね……

U) ただ、メリーが八雲紫にならない可能性は0とは言えない。有り得るやもしれない。でも、少なくとも落ちぶれる可能性がある未来が確実と言う訳でもない。今の八雲紫と性格が多少異なる八雲紫が生まれる可能性だってある。どっちみちこの話が事実なら、八雲紫は蓮子を求めているんだからな。そうだろ？

紫) ……確かに私の過去の親友に宇佐見蓮子って言う少女はいたわ。

U) そうか……ならな、その記憶は朧気になるかもしれない、でも、メリーが……マエリベリー・ハーンが、お前の悲しみの運命を塗り替える……その可能性を信じろよ！紫！

紫) ……どうとう名前呼び捨てか……皮肉だけど少し信頼されてしまったようね……

そして、この幻想郷の魔力は途切れ、京都へと姿を戻す。

紫) U、私は安易に貴方達を信じたりはしない。けど、私の新たな未来の可能性……それは信じてあげる。マエリベリー・ハーン、もう1人の私、貴方の選択を楽しみにしているわ……

紫は式神達と共にスキマの中に消えた……そして、Uは地に落ちていたオーブドライバーを拾う。鶴川聖也のベルトを持ち、彼は少し止まった後、蓮子にレミリア、咲夜のオーブと共に渡す。

U) 僕は元の時代に戻る。秘封倶楽部からは離脱する。

蓮子) そんな……………!

U) 一時だけだ。また必ずこの時代に来る。お前達が僕達を……………
幻想郷を忘れない限りだ。

蓮子) U……………

……………
メリー) やっぱりU君にはU君の世界があるのね? 私達と同じで

……………
U) ああ、僕の事を忘れてくれれば……………僕はそれでいい。

Uは自らのオーブを蓮子に渡す。

U) やっぱり半分はお前の手の中に預けておく。

蓮子) でもそんな事したらまた半分の力だけじゃ……………

U) 10年もしない内には今の本来の力になるさ。僕は長い間戦ってきたんだ。バカにするなよ?

Uは笑顔で答えた。

メリー) でも不思議ね。京都は元に戻ったのにオーブやベルトはそのままですもの。私のは人工的なものだから当たり前かもしれないけど……………

メリーの疑問にUは答えた。その答えは次回……………

To Be Continued……………

第50話 過去と未来の彼女

U) 皮肉だけど、紫のプレゼントって事か？全く、いつまでたっても腹が立つ奴だ……………

蓮子) その割には笑顔じゃない、U。

U) まあな。とりあえず元の時代に戻って僕の時代の幻想郷と紫の状態を確認しなきゃな。

Uはスキマを開ける。

蓮子) U！貴方はいつ、どの時代にいても……………秘封倶楽部のNo. 3なんだからね！

U) No. 3……………か、なんか気分は良くないけど、だいたい分かった……………じゃあな、蓮子、メリー……………

Uは彼女達に笑顔を見せ、スキマの中に消えた……………

蓮子) ……………U。凄い親友が出来たわね、メリー。

メリー) そうね、U君とはまた会えるわよね、そう遠くない未来で……………

幻想郷現代 (Uの時代の幻想郷)
スキマの出口は開いた。

U) さて……………と、幻想郷はどうなっているか……………今までと大して変わらない……………

紫) あら、来たのね、U君？

U) わざわざ君付けとはご苦労なもんだな。紫、いや、マエリベリー・ハーン。

紫) 貴方こそ無理に名前の呼び捨てじゃない。

U) 未来は変わったのか。

紫) 少なくとも貴方が知る八雲紫では無いわ。貴方との対立をやめる気は全く無いけど。

U) 分かってるよ。お前と僕は戦わなきゃならない。そんな運命で僕達は結ばれてやがるんだからな。

紫) ふふふっ、Uらしいわね。

U) 結局八雲紫の姿になった以上は呼び捨てか。

紫) あくまで貴方の知る幻想郷との違いの範囲は誤差の範囲内、大して変わって無いわよ。

U) そうか、ところなんで八雲紫の姿になったんだ？

紫) 蓮子が寿命を迎えたから。

U) 例の事故は起きなかったのか。でもなんでわざわざ幻想郷を作った？

紫) 貴方と出会って永遠に対立するって言うのはもちろんだけど……再び蓮子に会えることを夢見ているわ。私が出会った八雲紫見たいに……ね。

U) そうか……ところでお前は覚えてるだろ？

紫) もちろん。

U) 僕達が出会った時こそ……

紫) 戦いの時……でしょう？

U) 永遠に変わる事ないループって言うのは嫌な気もするが……

紫) それが私達の運命だから……ね。

U) 勝負だ！紫！

U) はセイバーを持ち、八雲紫は魔法陣を展開する。

U) 勝つのは僕だ！

紫) いいや、私よ！

今日もまた、2人の能力者の争いが始まろうとしていた……そして、秘封倶楽部からすればそう遠くない未来、Uにとってはかなり長い時期の後、彼等は21XX年の京都で再び出会う事となる。新たな敵、そして、メリー、八雲紫の未来の繋がりを知る為に……

THE END & To Be Continued……？